

シラバスを参照したい科目をクリックしてください。



タイトル	開講所属	時間割コード	授業科目名			担当 教員	対象年次	学期	曜日・ 校時	開講期間
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育・教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002001	●スポーツ演 習(フライング ディスク)	和	E	中垣内 真樹	1年,2年,3年,4年	前期	月 3	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育・教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002002	●スポーツ演 習(テニスとコ ンディショニング)	和	E	西澤 昭	1年,2年,3年,4年	前期	月 3	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育・教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002003	●スポーツ演 習(ダンス入門)	和	E	田中 志 保	1年,2年,3年,4年	前期	月 3	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育・教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002004	●スポーツ演 習(フライング ディスク)	和	E	中垣内 真樹	1年,2年,3年,4年	前期	月 4	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育・教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002005	●スポーツ演 習(テニス・ソ フトボール)	和	E	飛奈 卓 郎	1年,2年,3年,4年	前期	月 4	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育・教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002006	●スポーツ演 習(ダンス入門)	和	E	田中 志 保	1年,2年,3年,4年	前期	月 4	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育・教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002007	●スポーツ演 習(バレーボー ル・バドミント ン)	和	E	熊野 晃 三	1年,2年,3年,4年	前期	火 3	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育・教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002008	●スポーツ演 習(テニス他)	和	E	山内 正 毅	1年,2年,3年,4年	前期	火 3	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育・教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002009	●スポーツ演 習(テニス・ア ルティメット)	和	E	飛奈 美 耶子	1年,2年,3年,4年	前期	火 3	～
2014年度	教養教		●スポーツ演							

シラバス一覧

シラバス (教養教育 科目)	育・教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002010	習(バレーボール・バドミントン)	和	E		熊野 晃 三	1年,2年,3年,4年	前期	火 4	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002011	●スポーツ演習(サッカー・ ラグビー)	和	E		高橋 浩 二	1年,2年,3年,4年	前期	火 4	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002012	●スポーツ演習(テニス・ア ルティメット)	和	E		飛奈 美 耶子	1年,2年,3年,4年	前期	火 4	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002013	●スポーツ演習(球技スポ ーツ)	和	E		藤木 賢 二	1年,2年,3年,4年	前期	水 2	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002014	●スポーツ演習(バドミ ントン・バレーボール)	和	E		府内 勇 希	1年,2年,3年,4年	前期	水 2	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002015	●スポーツ演習(ダンス)	和	E		河合 史 菜	1年,2年,3年,4年	前期	水 4	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002016	●スポーツ演習(球技スポ ーツ)	和	E		藤木 賢 二	1年,2年,3年,4年	前期	水 3	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002017	●スポーツ演習(バドミ ントン・バレーボール)	和	E		府内 勇 希	1年,2年,3年,4年	前期	水 3	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002018	●スポーツ演習(ダンス入 門)	和	E		田中 志 保	1年,2年,3年,4年	前期	水 3	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002019	●スポーツ演習(球技スポ ーツ)	和	E		藤木 賢 二	1年,2年,3年,4年	前期	水 4	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002020	●スポーツ演習(バドミ ントン・バレーボール)	和	E		府内 勇 希	1年,2年,3年,4年	前期	水 4	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002021	●スポーツ演習(コミュニ ケーション・ゲーム)	和	E		小原 達 朗	1年,2年,3年,4年	前期	水 2	～

2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002022	●スポーツ演 習(ニュース ポーツ)	和	E		渡邊 勝 平	1年,2年,3年,4年	前期	木 3	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002023	●スポーツ演 習(ダンス入門)	和	E		田中 志 保	1年,2年,3年,4年	前期	木 3	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002024	●スポーツ演 習(テニス・ソ フトバレー)	和	E		飛奈 美 耶子	1年,2年,3年,4年	前期	木 3	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002025	●スポーツ演 習(ニュース ポーツ)	和	E		渡邊 勝 平	1年,2年,3年,4年	前期	木 4	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002026	●スポーツ演 習(ダンス入門)	和	E		田中 志 保	1年,2年,3年,4年	前期	木 4	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002027	●スポーツ演 習(テニス・ソ フトバレー)	和	E		飛奈 美 耶子	1年,2年,3年,4年	前期	木 4	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002028	●スポーツ演 習(フライング ディスク)	和	E		中垣内 真樹	1年,2年,3年,4年	後期	月 3	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002029	●スポーツ演 習(ダンス入門)	和	E		田中 志 保	1年,2年,3年,4年	後期	月 3	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002030	●スポーツ演 習(ラケットス ポーツ)	和	E		西澤 昭	1年,2年,3年,4年	後期	月 3	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002031	●スポーツ演 習(フライング ディスク)	和	E		中垣内 真樹	1年,2年,3年,4年	後期	月 4	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002032	●スポーツ演 習(ダンス入門)	和	E		田中 志 保	1年,2年,3年,4年	後期	月 4	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科	20140562002033	●スポーツ演 習(バドミント ン・卓球)	和	E		飛奈 美 耶子	1年,2年,3年,4年	後期	月 4	～

	学科目										
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002034	●スポーツ演 習(バレーボ ール・バドミ ント ン)	和	E		熊野 晃 三	1年,2年,3年,4年	後期	火 3	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002035	●スポーツ演 習(バドミ ント ン・卓球他)	和	E		山内 正 毅	1年,2年,3年,4年	後期	火 3	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002036	●スポーツ演 習(テニス・ソ フトバレー)	和	E		飛奈 美 耶子	1年,2年,3年,4年	後期	火 3	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002037	●スポーツ演 習(バレーボ ール・バドミ ント ン)	和	E		熊野 晃 三	1年,2年,3年,4年	後期	火 4	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002038	●スポーツ演 習(サッカー)	和	E		高橋 浩 二	1年,2年,3年,4年	後期	火 4	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002039	●スポーツ演 習(テニス・ソ フトバレー)	和	E		飛奈 美 耶子	1年,2年,3年,4年	後期	火 4	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002040	●スポーツ演 習(球技スポ ーツ)	和	E		藤木 賢 二	1年,2年,3年,4年	後期	水 2	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002041	●スポーツ演 習(バドミ ント ン・バレーボ ール)	和	E		府内 勇 希	1年,2年,3年,4年	後期	水 2	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002042	●スポーツ演 習(ダンス)	和	E		河合 史 菜	1年,2年,3年,4年	後期	水 4	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002043	●スポーツ演 習(球技スポ ーツ)	和	E		藤木 賢 二	1年,2年,3年,4年	後期	水 3	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科学科目	20140562002044	●スポーツ演 習(バドミ ント ン・バレーボ ール)	和	E		府内 勇 希	1年,2年,3年,4年	後期	水 3	～
2014年度 シラバス	教養教育-教養教育 健康・		●スポーツ演				田中 志	1年,2年,3年,4年	後期	水 3	～

(教養教育 科目)	スポーツ科 学科目	20140562002045	習(ダンス入門)	和	E		保				
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科 学科目	20140562002046	●スポーツ演 習(球技スポー ツ)	和	E		藤木 賢 二	1年,2年,3年,4年	後期	水 4	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科 学科目	20140562002047	●スポーツ演 習(バドミント ン・バレーボー ル)	和	E		府内 勇 希	1年,2年,3年,4年	後期	水 4	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科 学科目	20140562002048	●スポーツ演 習(バスケット ボール・卓球)	和	E		小原 達 朗	1年,2年,3年,4年	後期	水 2	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科 学科目	20140562002049	●スポーツ演 習(ニュース ポーツ)	和	E		渡邊 勝 平	1年,2年,3年,4年	後期	木 3	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科 学科目	20140562002050	●スポーツ演 習(ダンス入門)	和	E		田中 志 保	1年,2年,3年,4年	後期	木 3	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科 学科目	20140562002051	●スポーツ演 習(テニス・卓 球)	和	E		飛奈 美 耶子	1年,2年,3年,4年	後期	木 3	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科 学科目	20140562002052	●スポーツ演 習(ニュース ポーツ)	和	E		渡邊 勝 平	1年,2年,3年,4年	後期	木 4	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科 学科目	20140562002053	●スポーツ演 習(ダンス入門)	和	E		田中 志 保	1年,2年,3年,4年	後期	木 4	～
2014年度 シラバス (教養教育 科目)	教養教育-教養教育 健康・ スポーツ科 学科目	20140562002054	●スポーツ演 習(テニス・卓 球)	和	E		飛奈 美 耶子	1年,2年,3年,4年	後期	木 4	～





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002001	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(フライングディスク)		
編集担当教員	中垣内 真樹		
授業担当教員名(科目責任者)	中垣内 真樹		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中垣内 真樹		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	E5・E6		
担当教員Eメールアドレス	gaichi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部保健学科体育館2F中垣内研究室		
担当教員TEL	095-819-7966		
担当教員オフィスアワー	月曜日 10：30～12：30、16：00～17：00		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる		
授業到達目標	フライングディスクを正確に投げることができる。アルティメットのルールや戦術を理解し（説明でき）、チーム（個々の技能）の特性を活かして楽しくゲームができる戦術をチームメイトと討論し、ゲームを実践することができる。		
授業方法（学習指導法）	ニュースポーツの一種である「フライングディスク」を題材として、フライングディスクを正確に投げる技術から、最終的には「アルティメット」と呼ばれる集団競技を楽しむ技術や戦術を習得する。		
	フライングディスクの基礎的技術からフライングディスクを用いた数種のゲームを体験し、最終的にはアルティメットのルールや戦術を理解し、ゲームを実践する。		
	回	内容	
	1	4月7日 オリエンテーション（授業のすすめ方 ねらい）	
	2	4月14日 技術テスト 基本スローの習得 バックハンドスロー	
	3	4月21日 基本スローの習得 バックハンドスロー	
	4	4月28日 応用スローの習得 カーブスロー レクリエーションゲーム：アキュラシー	
	5	5月12日 応用スローの習得 サイドアームスロー レクリエーションゲーム：ドッチビー	
	6	5月19日 応用スローの習得 フリースロー レクリエーションゲーム：ポートボールのルールでのゲーム	

授業内容	7	5月26日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得
	8	6月2日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得
	9	6月9日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える
	10	6月16日 ライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える
	11	6月23日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
	12	6月30日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
	13	7月7日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
	14	7月14日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 ゲームのまとめ
	15	7月28日 技術テスト 自身の技術の向上を確認
	16	
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は使わない 参考書：フライングディスクのすすめ （編）日本フライングディスク協会 ベースボールマガジン社	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度50% 技能テスト30% 集団技能（ゲームの勝敗やゲームの内容をチーム毎に評価する）20% 授業中の課題に対する積極的な取り組み状況および集団での戦術の討論などへの積極参画などを評価する。欠席が3回以上の者は失格とする。授業前後での技術テストによる技能の向上と基本スローの習得状況を評価する。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002002	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(テニスとコンディショニング)		
編集担当教員	西澤 昭		
授業担当教員名(科目責任者)	西澤 昭		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西澤 昭		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	E5,E6		
担当教員Eメールアドレス	nishisho@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部新館552		
担当教員TEL	095-819-2356		
担当教員オフィスアワー	木曜12:00～14:30		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる		
授業到達目標	テニスを生涯にわたってたのしめる素養を身につけられるようにする。また自身のコンディショニングとして、自分で運動の強度、頻度、内容を理解、自覚し、自分の責任でスポーツに参加できる能力をやしなう。		
授業方法（学習指導法）	授業方法：本演習ではできるだけ親しみのあるスポーツをとりあげ、手軽に実施できることで生涯にわたって実践できるようになれることを主なねらいとする。		
授業内容	授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)		
	これまでに経験し、親しみのあると思われる以下のスポーツを通じて、運動の身体的効果やレクリエーションの考え方、生涯スポーツの実施法などを学習する。基本的にチームに分かれてゲームを中心に実施する。 また天候によってはテニスとコンディショニングを入れ替えることがある。		
	回	内容	
	1	4月7日 オリエンテーション（クラス分けなど）	
	2	4月14日 テニスのルールとたのしみ方	
	3	4月21日 ストロークの打ち方およびテニスのゲーム(1)	
	4	4月28日 フォアハンドの打ち方およびテニスのゲーム(2)	
	5	5月12日 バックハンドの打ち方およびテニスのゲーム(3)	
	6	5月19日 ボレーの方法およびテニスのゲーム(4)	

	7	5月26日 サービスの方法およびテニスのゲーム(5)
	8	6月2日 シングルスゲームおよびテニスのゲーム(6)
	9	6月9日 ダブルスのゲームおよびテニスのゲーム(7)
	10	6月16日 審判の方法およびテニスのゲーム(8)
	11	6月23日 コンディショニング(1)呼吸法
	12	6月30日 コンディショニング(2)ストレッチング
	13	7月7日 コンディショニング(3)リラクセーション
	14	7月14日 コンディショニング(4)ウォーキング
	15	7月28日 コンディショニング(5)まとめ
	16	
キーワード	生涯スポーツ、ラケットスポーツ	
教科書・教材・参考書	必要に応じハンドアウトを配布する。	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加の様態とチームに対する貢献度(50%)、技術の上達の程度(10%)、試合に発揮された技能・技術の上達度(40%)などを総 合的に評価する。ただし、全期間の欠席が3回以上の場合には原則として失格になる。	
受講要件（履修条件）	特になし	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002003	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ダンス入門)		
編集担当教員	田中 志保		
授業担当教員名(科目責任者)	田中 志保		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田中 志保		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	E5・E6		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	共用校舎 2（2階体育教員室）		
担当教員TEL	095-847-7568		
担当教員オフィスアワー	毎週月曜日12:30~12:50		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	音楽に合わせて体を動かす楽しさや心地よさ、体力の向上を実感できるようにする。		
授業方法（学習指導法）	毎時間実技を行う。基本的には教員が全体へ指導するが、技術習得のためグループやペアで協力して取り組む場面もある。		
授業内容	本授業では、ダンス（主にストリートダンス）の基本的な動きやステップを段階的に学習し、その習得を図る。毎時間ウォームアップとして、全身のストレッチ と筋力アップの運動を行い、その後、様々なステップや動きを練習する。2～6回目の授業では、授業後半に短い振付を覚えて踊る。7回目の授業では、それま でに学習した振付の技能テストを行う。8回目の授業からはグループに分かれ、協力しながら自由に小作品を創作する。16回目に行う定期試験では、その小作 品を発表する。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション（授業の進め方、注意事項等の説明）	
	2	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック①、振付①	
	3	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック②、振付②	
	4	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック③、振付③	
	5	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック④、振付④	
	6	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑤、振付⑤	
	7	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、技能テスト	
		ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑥、グループ創作①（グルー	

	8	プ分け、創作のすすめ方等の説明)
	9	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑦、グループ創作②
	10	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑧、グループ創作③
	11	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑨、グループ創作④
	12	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑩、グループ創作⑤
	13	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑪、グループ創作⑥
	14	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑫、グループ創作⑦
	15	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑬、グループ創作⑧
	16	定期試験（創作作品発表）
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は用いない。	
成績評価の方法・基準等	授業中の積極的な態度（４０％）、技能テスト（３０％）、定期試験（３０％）を総合的に考慮して評価する。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメイトと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002004	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(フライングディスク)		
編集担当教員	中垣内 真樹		
授業担当教員名(科目責任者)	中垣内 真樹		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中垣内 真樹		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	E1～E4		
担当教員Eメールアドレス	gaichi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部保健学科体育館2F中垣内研究室		
担当教員TEL	095-819-7966		
担当教員オフィスアワー	月曜日 10：30～12：30、16：00～17：00		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる		
授業到達目標	フライングディスクを正確に投げることができる。アルティメットのルールや戦術を理解し（説明でき）、チーム（個々の技能）の特性を活かして楽しくゲームができる戦術をチームメイトと討論し、ゲームを実践することができる。		
授業方法（学習指導法）	ニュースポーツの一種である「フライングディスク」を題材として、フライングディスクを正確に投げる技術から、最終的には「アルティメット」と呼ばれる集団競技を楽しむ技術や戦術を習得する。		
	フライングディスクの基礎的技術からフライングディスクを用いた数種のゲームを体験し、最終的にはアルティメットのルールや戦術を理解し、ゲームを実践する。		
	回	内容	
	1	4月7日 オリエンテーション（授業のすすめ方 ねらい）	
	2	4月14日 技術テスト 基本スローの習得 バックハンドスロー	
	3	4月21日 基本スローの習得 バックハンドスロー	
	4	4月28日 応用スローの習得 カーブスロー レクリエーションゲーム：アキュラシー	
	5	5月12日 応用スローの習得 サイドアームスロー レクリエーションゲーム：ドッチビー	
	6	5月19日 応用スローの習得 フリースロー レクリエーションゲーム：ポートボールのルールでのゲーム	

授業内容	7	5月26日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得
	8	6月2日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得
	9	6月9日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える
	10	6月16日 ライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える
	11	6月23日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
	12	6月30日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
	13	7月7日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
	14	7月14日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 ゲームのまとめ
	15	7月28日 技術テスト 自身の技術の向上を確認
	16	
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は使わない 参考書：フライングディスクのすすめ （編）日本フライングディスク協会 ベースボールマガジン社	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度50% 技能テスト30% 集団技能（ゲームの勝敗やゲームの内容をチーム毎に評価する）20% 授業中の課題に対する積極的な取り組み状況および集団での戦術の討論などへの積極参画などを評価する。欠席が3回以上の者は失格とする。授業前後での技術テストによる技能の向上と基本スローの習得状況を評価する。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002005	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(テニス・ソフトボール)		
編集担当教員	飛奈 卓郎		
授業担当教員名(科目責任者)	飛奈 卓郎		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	飛奈 卓郎		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	E 1～E 4		
担当教員Eメールアドレス	tobitaku@sun.ac.jp		
担当教員研究室	共用校舎 2 （2階体育教員室）		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	テニスとソフトボールのゲーム楽しむための技術を身につけるとともに、ルールを理解して自分たちでゲームを進めることができるようになる。仲間とコミュニケーションを取りながらゲーム進行・運営ができるようになる。		
授業方法（学習指導法）	テニスやソフトボールという社会人にも身近な種目を題材として、基本技術をルールを学び、戦略を考え、スポーツを楽しむ能力を身につけることをねらいとする。		
授業内容	テニス・ソフトボールともに基礎技術を修得し、ルールを理解することでゲーム展開と運営ができるようにする。		
	回	内容	
	1	4月7日 オリエンテーション	
	2	4月14日 テニスのルールと基本的な技術を学ぶ	
	3	4月21日 テニスの基本的な技術を学ぶ	
	4	4月28日 テニスのゲーム（シングルス）	
	5	5月12日 テニスのゲーム（シングルス）	
	6	5月19日 テニスのゲーム（ダブルス）	
	7	5月26日 テニスのゲーム（ダブルス）	
	8	6月2日 テニスのゲーム（チーム対抗戦）	
	9	6月9日 ソフトボールのルールを学ぶ	

	10	6月16日 ソフトボールのゲーム
	11	6月23日 ソフトボールのゲーム
	12	6月30日 ソフトボールのゲーム
	13	7月7日 ソフトボールのゲーム
	14	7月14日 ソフトボールのゲーム
	15	7月28日 ソフトボールのゲーム
	16	定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	必要に応じて関係する資料を配布する。	
成績評価の方法・基準等	授業への積極的な参加態度（70％）、定期試験（30％）。 欠席が3回以上の者は失格とする。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002006	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ダンス入門)		
編集担当教員	田中 志保		
授業担当教員名(科目責任者)	田中 志保		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田中 志保		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	E1～E4		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	共用校舎 2 （2階体育教員室）		
担当教員TEL	095-847-7568		
担当教員オフィスアワー	毎週月曜日12:30～12:50		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体活動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことができる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格する。		
授業到達目標	音楽に合わせて体を動かす楽しさや心地よさ、体力の向上を実感できるようにする。		
授業方法（学習指導法）	毎時間実技を行う。基本的には教員が全体へ指導するが、技術習得のためグループやペアで協力して取り組む場面もある。		
授業内容	本授業では、ダンス（主にストリートダンス）の基本的な動きやステップを段階的に学習し、その習得を図る。毎時間ウォームアップとして、全身のストレッチ と筋力アップの運動を行い、その後、様々なステップや動きを練習する。2～6回目の授業では、授業後半に短い振付を覚えて踊る。7回目の授業では、それま でに学習した振付の技能テストを行う。8回目の授業からはグループに分かれ、協力しながら自由に小作品を創作する。16回目に行う定期試験では、その小作 品を発表する。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション（授業の進め方、注意事項等の説明）	
	2	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック①、振付①	
	3	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック②、振付②	
	4	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック③、振付③	
	5	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック④、振付④	
	6	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑤、振付⑤	
	7	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、技能テスト	
		ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑥、グループ創作①（グルー	

	8	プ分け、創作のすすめ方等の説明)
	9	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑦、グループ創作②
	10	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑧、グループ創作③
	11	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑨、グループ創作④
	12	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑩、グループ創作⑤
	13	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑪、グループ創作⑥
	14	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑫、グループ創作⑦
	15	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑬、グループ創作⑧
	16	定期試験（創作作品発表）
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は用いない。	
成績評価の方法・基準等	授業中の積極的な態度（４０％）、技能テスト（３０％）、定期試験（３０％）を総合的に考慮して評価する。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメイトと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体的に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002007	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バレーボール・バドミントン)		
編集担当教員	熊野 晃三		
授業担当教員名(科目責任者)	熊野 晃三		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	熊野 晃三		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	L 1～L 4		
担当教員Eメールアドレス	kumano@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館 2 階（体育教官室）		
担当教員TEL	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー	火曜日12：20～12：50		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	獲得しようとする技術が、どのように構成されているかということのを的確に認識し、スモールステップを踏みながら着実に習得していく。 獲得した技能をできるだけ試合の中で実践できるように努めていく。 技能習得の合理的な方法を身につけ、生涯を通じてスポーツ活動に親しむ能力と態度を養う。		
授業方法（学習指導法）	体育館を中心に、各種目についての解説、ならびに技術習得を行う。 習得した技能を活かしながら、積極的にそれらが発現できるような試合を展開していく。		
	基本的なレクリエーションワークを実践する。 バレーボールのスパイク技術を習得する。スパイクを交えたゲームが展開できるようにする。 バドミントンの基本的なルールおよび技術を習得する。戦術を意識したゲームが展開できるようにする。 リーグ戦の対戦表が完成できるようにする。		
	回	内容	
	1	4月8日 オリエンテーション（コース別演習のコース決定など）	
	2	4月15日 演習1（レクリエーション）レクリエーションワークの解説と実習	
	3	4月22日 演習2（バレーボール）技術習得の方法論と解説、オーバーハンドパス	
	4	5月13日 演習3 // アンダーハンドパス、スパイク	
	5	5月20日 演習4 // スパイク、サーブ、異質グループによるゲーム①	

授業内容	6	5月27日 演習5 // 異質グループによるゲーム②
	7	6月3日 演習6 // 異質グループによるゲーム③
	8	6月10日 演習7 // ソフトバレーボール
	9	6月17日 演習8 (バドミントン) 解説と基本ストローク
	10	6月24日 演習9 // シングルスゲームの説明、異質グループによるリーグ戦
	11	7月1日 演習10 // 等質グループによるリーグ戦①
	12	7月8日 演習11 // 等質グループによるリーグ戦②
	13	7月15日 演習12 // 等質グループによるリーグ戦③
	14	7月22日 演習13 // ダブルスゲームの説明、等質グループによるリーグ戦①
	15	7月29日 演習14 // 等質グループによるリーグ戦②
	16	8月5日 定期試験
キーワード	生涯スポーツ、合理的な技術習得、スポーツ文化	
教科書・教材・参考書	教材 : 必要に応じて授業計画にそったプリントを配布する	
成績評価の方法・基準等	授業への取り組み方、および態度 : 20% 実技試験 : 40% 筆記試験 : 40% 全授業への出席を原則とし、実技試験、授業への参加状況、筆記試験などによって総合的に評価する。 ただし、全期間の欠席が3回以上の場合には原則として失格になる。	
受講要件 (履修条件)	演習では、指定したユニフォームは特にはないが、動きやすいスポーツウェアに着替えて出席すること。 屋内での授業実施に際しては、必ず、屋内用の体育館シューズを準備しておくこと。 イヤリングなどの装飾品は、はずしておくこと。	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002008	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(テニス他)		
編集担当教員	山内 正毅		
授業担当教員名(科目責任者)	山内 正毅		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山内 正毅		
科目分類	健・スポ科学科目、(教職免許科目他)		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	L 1～L 4		
担当教員Eメールアドレス	yamauchi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部本館 1 階109		
担当教員TEL	095-819-2356		
担当教員オフィスアワー	木曜3校時		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる		
授業到達目標	・教材として取り上げた体づくり運動やスポーツの技能の自立的な実践方法を獲得する。 ・運動・スポーツと健康との関わりを理解し、運動量と主観的運動強度、心拍数（HR）、エネルギー消費量等の関係を自覚する。		
授業方法（学習指導法）	前半はいろいろな体づくり運動を行い、自分の体力や動きの能力を知ることが目的とした内容で室内やグラウンドで行う。後半は、硬式テニスを教材としてテニス の楽しさや技能を獲得する。半期を通じて運動・スポーツとからだや健康に関する教養教育を行う。		
	現代社会における心身のコンディショニングの重要性やメカニズムを理解し、それらに対する運動やスポーツの関わり方、実践方法などを体づくり運動や硬式テニスの教材を用いて演習する。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	自分の体力を知る。運動強度の変化（例、通常の歩行スピード、速歩、軽いジョギング）によって、心拍数、主観的運動強度、エネルギー消費量、などがどのように変化するかを測定、記録する。以後数回、心拍数やエネルギー消費量を測定し、その各自のデータをもとにレポートを提出する。	
	3	自分の動きの能力、体力を知る。からだのリラックス、脱力の仕方を学習する。いろいろな体づくり運動（用具を用いない）を行う	

授業内容	4	いろいろな体づくり運動（用具を用いない）を行う
	5	用具（なわ等）を用いての体づくり運動 カロリーカウンターによるエネルギー消費量の測定
	6	用具（なわ等）を用いての体づくり運動
	7	用具（ボール等）を用いての体づくり運動
	8	いろいろな遊びやゲームを用いた体づくり運動
	9	テニス（演習、実技）テニスの基本的なマナーやルールを知り、ラケットやボールのコントロールに慣れる。自分の技能レベルの確認 技能チェック
	10	テニス（演習、実技）の基本的な技能を学習する。ボールの位置とプレーヤーの位置関係、腕の延長であるラケットとボールとの位置感覚、ダイレクトでボールを捕らえる感覚とワンバウンドでボールをとらえる感覚の違いを身につける カロリーカウンターによるエネルギー消費量の測定
	11	テニス（演習、実技）フォアハンド、バックハンドストロークの連続した動きを確認し、学習する
	12	テニス（演習、実技）フォアハンド、バックハンドストロークの連続した動きを確認し、ボレーの技術を学習する カロリーカウンターによるエネルギー消費量の測定
	13	テニス（演習、実技）サービスとそのレシーブ、スマッシュの動きを学習する ゲームへ挑戦
	14	テニス（演習、実技）サービスとそのレシーブ、スマッシュの動きを学習する ゲームへ挑戦
	15	テニス（演習、実技）ゲームの組み立て、動きを考えて試合をする
	16	技能チェックと総合評価
キーワード	テニス， 体づくり運動、主観的運動強度， QOL	
教科書・教材・参考書	必要な資料はプリントして配布する。	
成績評価の方法・基準等	授業への参加状況と取り組みの意欲（50％）、技術の上達（10％）、理解度（最後にレポートの提出、40％）など総合的に評価する。ただし、全期間の欠席が2回を越える場合には原則として失格となる。	
受講要件（履修条件）	服装等， ルールに従い， クラスの成員と協力しあうこと。体調を自己管理し， 欠席しなくteいようにすることも本授業の内容にかかわってくるのでこの点も注意すること。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	学生へのメッセージ：授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002009	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(テニス・アルティメット)		
編集担当教員	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(科目責任者)	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	飛奈 美耶子		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	L1～L4		
担当教員Eメールアドレス	tobimiyako@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	総合体育館2F体育教官室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	テニス・アルティメットの基本動作やルール・マナーを習得し、個々の技能を活かしてゲームの中でさまざまな状況に対応できることを目標とする。		
授業方法（学習指導法）	テニスとアルティメットの基礎技術を習得し、ゲームを通じて技術の発展・戦略を考えたゲームの展開ができるようにする。また、個人の課題を明確にし、自らで克服していく能力を身に付ける。		
授業内容	回	内容	
	1	4月 8日 オリエンテーション	
	2	4月15日 テニスの各ショットの習得	
	3	4月22日 テニスの各ショットの習得	
	4	5月13日 テニスのダブルスゲーム	
	5	5月20日 テニスのシングルスゲーム	
	6	5月27日 テニスチーム対抗戦①	
	7	6月 3日 テニスチーム対抗戦②	
	8	6月10日 テニスチーム対抗戦③	
	9	6月17日 フライングディスクの基本動作の習得	
	10	6月24日 フライングディスクの基本動作の習得	

	11	7月 1日 アルティメットのミニゲーム
	12	7月 8日 アルティメットのミニゲーム
	13	7月1 5日 アルティメットのゲーム
	14	7月2 2日 アルティメットのゲーム
	15	7月2 9日 アルティメットのゲーム
	16	8月 5日 筆記試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加 5 0 % 授業への取り組み方 2 0 % 筆記試験及び技術の上達度 3 0 % ただし、欠席が3回以上の者は失格とする。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002010	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バレーボール・バドミントン)		
編集担当教員	熊野 晃三		
授業担当教員名(科目責任者)	熊野 晃三		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	熊野 晃三		
科目分類	健・スポ科学科目、(教職免許科目他)		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	L 5・L 6・P 1・P 2		
担当教員Eメールアドレス	kumano@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館 2 階（体育教官室）		
担当教員TEL	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー	火曜日12：20～12：50		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	獲得しようとする技術が、どのように構成されているかということのを的確に認識し、スモールステップを踏みながら着実に習得していく。 獲得した技能をできるだけ試合の中で実践できるように努めていく。 技能習得の合理的な方法を身につけ、生涯を通じてスポーツ活動に親しむ能力と態度を養う。		
授業方法（学習指導法）	体育館を中心に、各種目についての解説、ならびに技術習得を行う。 習得した技能を活かしながら、積極的にそれらが発現できるような試合を展開していく。		
	基本的なレクリエーションワークを実践する。 バレーボールのスパイク技術を習得する。スパイクを交えたゲームが展開できるようにする。 バドミントンの基本的なルールおよび技術を習得する。戦術を意識したゲームが展開できるようにする。 リーグ戦の対戦表が完成できるようにする。		
	回	内容	
	1	4月8日 オリエンテーション（コース別演習のコース決定など）	
	2	4月15日 演習1（レクリエーション）レクリエーションワークの解説と実習	
	3	4月22日 演習2（バレーボール）技術習得の方法論と解説、オーバーハンドパス	
	4	5月13日 演習3 // アンダーハンドパス、スパイク	
	5	5月20日 演習4 // スパイク、サーブ、異質グループによるゲーム①	

授業内容	6	5月27日 演習5 // 異質グループによるゲーム②
	7	6月3日 演習6 // 異質グループによるゲーム③
	8	6月10日 演習7 // ソフトバレーボール
	9	6月17日 演習8 (バドミントン) 解説と基本ストローク
	10	6月24日 演習9 // シングルスゲームの説明、異質グループによるリーグ戦
	11	7月1日 演習10 // 等質グループによるリーグ戦①
	12	7月8日 演習11 // 等質グループによるリーグ戦②
	13	7月15日 演習12 // 等質グループによるリーグ戦③
	14	7月22日 演習13 // ダブルスゲームの説明、等質グループによるリーグ戦①
	15	7月29日 演習14 // 等質グループによるリーグ戦②
	16	8月5日 定期試験
キーワード	生涯スポーツ、合理的な技術習得、スポーツ文化	
教科書・教材・参考書	教材 : 必要に応じて授業計画にそったプリントを配布する	
成績評価の方法・基準等	授業への取り組み方、および態度 : 20% 実技試験 : 40% 筆記試験 : 40% 全授業への出席を原則とし、実技試験、授業への参加状況、筆記試験などによって総合的に評価する。 ただし、全期間の欠席が3回以上の場合には原則として失格になる。	
受講要件 (履修条件)	演習では、指定したユニフォームは特にはないが、動きやすいスポーツウェアに着替えて出席すること。 屋内での授業実施に際しては、必ず、屋内用の体育館シューズを準備しておくこと。 イヤリングなどの装飾品は、はずしておくこと。	
備考 (URL)		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002011	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(サッカー・ラグビー)		
編集担当教員	高橋 浩二		
授業担当教員名(科目責任者)	高橋 浩二		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高橋 浩二		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	L 5・L 6、P 1・P 2		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	教育学部・本館 1 1 0 研究室		
担当教員TEL	2 3 5 8		
担当教員オフィスアワー	随時（事前予約のこと）		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化，ルール，技術を習得し，生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ，実践しようとする意識を育む科目である．そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが，内容についてはシラバスを参照すること．なお3回欠席すると原則的に失格になる．		
授業到達目標	・自己及びチームの課題を発見し，練習計画表を作成することができる． ・ルールや戦術を理解し，チームや個々の技能の特性を生かしてゲームができる戦術を考えることができる． ・チームメイトと討論し，自己及びチームの課題を計画表として作成し，練習及びゲームを実践することができる．		
授業方法（学習指導法）	・このクラスでは，サッカー及び（タグ）ラグビーの知識・理論を学習し，技術・戦術を実践的に習得するが，そのための思考能力と方法的能力を育成する．授業は男女共習のチーム学習の形態で行い，チームごとに学習内容を「計画」し「実践」する．その後「ふりかえり」を行い，チーム内での課題の発見とその解決 について検討する． ・毎時間チームごとに学習内容を計画しながら実践する．計画した内容をゲーム等で実践することによって，サッカー及び（タグ）ラグビーの基礎的技術を習得し，ルールや戦術の理解を深める．受講者にはチームや自己に対する理性的な評価・批判と主体的な態度・意欲が求められる．授業ごとに毎回作成される計画表は，授業後に提出し，評価を受けた後に次回の立案者に渡される．		
	回	内容	
	1	オリエンテーション（クラス分け）	
	2	グループ学習 1（サッカー①：準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・ボールフィーリング（タッチ・リフト・ターン）の学習 ・ドリブル及びシュートの学習	

授業内容	3	グループ学習 2（サッカー②：準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・トラップ及びルール（オフサイド）の学習 ・キック三種（インサイド、インステップ、アウトサイド）の学習
	4	グループ学習 3（サッカー③：準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・パス（1対1, 多対多）の学習
	5	グループ学習 4（サッカー④：準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・オフENSE及びディフェンス（1対1,2対1, 2対2）の学習
	6	グループ学習 5（サッカー⑤：準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・オフENSE及びディフェンス（多対多）の学習
	7	グループ学習 6（サッカー⑥：準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・チームで採用する戦術の学習
	8	グループ学習 7（サッカー⑦：準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・チームに必要な技術の強化
	9	グループ学習 8（タグラグビー①：準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・タグラグビーの特性についての説明 ・基本的な動きの確認
	10	グループ学習 9（タグラグビー②：準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・導入ゲーム
	11	グループ学習 10（タグラグビー③：準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・アタックとディフェンスの学習（1対1,2対2）
	12	グループ学習 11（タグラグビー④：準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・アタックとディフェンスの学習（多対多）
	13	グループ学習 12（タグラグビー⑤：準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・動きの工夫（カットイン・スワープ・チェンジオブペース・ダミーパス）
	14	グループ学習 13（タグラグビー⑥：準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・チームで採用する戦術の学習
	15	グループ学習 14（タグラグビー⑦：準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・チームに必要な技術の強化
	16	試験
キーワード	スポーツ文化としてのサッカー，他者との運動実践，行為的省察	
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない．必要に応じて資料を配付する．	
成績評価の方法・基準等	以下の割合で総合的に評価し，60％以上の評点を合格とする． 欠席が3回以上の者，試験を受験しない者は失格とする． （評価の割合） 授業に対する積極的な取り組み 10％ 計画表 25％ 個人技能・集団技能（練習やゲームの内容をチーム毎に評価する） 25％ 筆記試験 40％	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう，チームメートと心理的な面も含めて協力しよう，楽しくやろうという態度で臨んでほしい．身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する．	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002012	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(テニス・アルティメット)		
編集担当教員	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(科目責任者)	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	飛奈 美耶子		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	L5,L6,P1,P2		
担当教員Eメールアドレス	tobimiyako@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	総合体育館2F体育教官室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	テニス・アルティメットの基本動作やルール・マナーを習得し、個々の技能を活かしてゲームの中でさまざまな状況に対応できることを目標とする。		
授業方法（学習指導法）	テニスとアルティメットの基礎技術を習得し、ゲームを通じて技術の発展・戦略を考えたゲームの展開ができるようにする。また、個人の課題を明確にし、自らで克服していく能力を身に付ける。		
授業内容	回	内容	
	1	4月 8日 オリエンテーション	
	2	4月15日 テニスの各ショットの習得	
	3	4月22日 テニスの各ショットの習得	
	4	5月13日 テニスのダブルスゲーム	
	5	5月20日 テニスのシングルスゲーム	
	6	5月27日 テニスチーム対抗戦①	
	7	6月 3日 テニスチーム対抗戦②	
	8	6月10日 テニスチーム対抗戦③	
	9	6月17日 フライングディスクの基本動作の習得	
	10	6月24日 フライングディスクの基本動作の習得	

	11	7月 1日 アルティメットのミニゲーム
	12	7月 8日 アルティメットのミニゲーム
	13	7月1 5日 アルティメットのゲーム
	14	7月2 2日 アルティメットのゲーム
	15	7月2 9日 アルティメットのゲーム
	16	8月 5日 筆記試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加 5 0 % 授業への取り組み方 2 0 % 筆記試験及び技術の上達度 3 0 % ただし、欠席が3回以上の者は失格とする。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002013	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(球技スポーツ)		
編集担当教員	藤木 賢二		
授業担当教員名(科目責任者)	藤木 賢二		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤木 賢二		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	D1・D2、F1～F3		
担当教員Eメールアドレス	k-fujiki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館2F（体育教官室）		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜日12:00～12:45、16:00～16:30		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお、3回欠席すると、原則的に失格になる。		
授業到達目標	ソフトボール、サッカー、テニスの運動効果およびルールを理解する。 ソフトボールにおいては、スローイング、キャッチング、バッティングができる。 テニスにおいては、グランドストローク、ボレー、サーブができる。 サッカーにおいては、ドリブル、パス、シュートができる。 以上より、安全にゲームを行い、スポーツに参加する意識を養う。		
授業方法（学習指導法）	球技スポーツでは、ソフトボール、サッカー、テニスの3種目を行う。		
授業内容	授業内容（概要） ソフトボール、サッカー、テニスをゲーム中心に行う。		
	回	内容	
	1	4月9日 オリエンテーション（種目の決定、授業の概要説明など）	
	2	4月16日 ソフトボール 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習	
	3	4月23日 ソフトボール ゲーム	
	4	4月30日 ソフトボール ゲーム	
	5	5月7日 ソフトボール ゲーム	
	6	5月14日 テニス 運動効果の理解、グループ分け、グランドストローク（フォアハンド、バックハンド）	
	7	5月21日 テニス グランドストローク、ボレー、サーブ	

	8	5月28日 テニス ゲーム（ダブルス）
	9	6月4日 テニス ゲーム（ダブルス、シングルス）
	10	6月11日 テニス ゲーム（シングルス）
	11	6月19日 サッカー 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習、簡易ゲーム
	12	6月25日 サッカー ゲーム
	13	7月2日 サッカー ゲーム
	14	7月9日 サッカー ゲーム
	15	7月16日 サッカー ゲーム
	16	7月23日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	テキストは使用しない。必要に応じて関係する資料やビデオを使用する。	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度 40%、チームへの貢献 10%、技術上達 10%、試験（運動効果の理解30%、ルール等の理解10%）。 全期間の欠席が3回以上の場合には原則的に失格となる。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002014	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バドミントン・バレーボール)		
編集担当教員	府内 勇希		
授業担当教員名(科目責任者)	府内 勇希		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	府内 勇希		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	D 1・D 2、F 1～F 3		
担当教員Eメールアドレス	y.funai@nishitan.ac.jp		
担当教員研究室	共用校舎 2 （2階体育教員室）		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	（バレーボール）基本技術を習得し、正確なパスと力強いスパイクを打つことができる。 （バドミントン）基本技術を習得し、様々なフライトを組み合わせてシングルス、ダブルスのゲームができる。		
授業方法（学習指導法）	バレーボール、バドミントンを題材として、基礎的な技術とルールを段階的に習得しながら、ゲームの中で仲間と戦術を生かした様々なプレーができるようにする。また、障害のある人などに対してルールや用具を改変して行う「アダプテッド・スポーツ」についても理解を深める。		
授業内容	基本的には、授業前半に技術練習を行ったうえでゲームを中心に展開する。技能評価については、技術練習の中で実施した内容とする。また、16回目の定期試験については、本講義の総まとめとして実施する。		
	回	内容	
	1	4月 9日 オリエンテーション	
	2	4月 1 6日 バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム	
	3	4月 2 3日 バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム	
	4	5月 7日 バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム	
	5	5月 1 4日 バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム	
	6	5月 2 1日 アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール	
	7	5月 2 8日 アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール	

	8	6月 4日 バレーボール：ゲームと技能評価
	9	6月 1 1日 バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム
	10	6月 1 8日 バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム
	11	6月 2 5日 バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム
	12	7月 2日 バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム
	13	7月 9日 アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン
	14	7月 1 6日 アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン
	15	7月 2 3日 バドミントン：ゲームと技能評価
	16	7月 3 0日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		
成績評価の方法・基準等		
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ		





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002015	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ダンス)		
編集担当教員	ミティ		
授業担当教員名(科目責任者)	河合 史菜		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	河合 史菜		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M1～M3, T1・T2		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	本館108研究室		
担当教員TEL	095-819-2355		
担当教員オフィスアワー	随時（事前に予約すること）		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	ダンスの基礎的な身体の使い方を理解し、人と関わることや踊ることの楽しさを知ることができる。 様々な運動プログラムを通して健康・体力づくりの方法を理解し、継続して体を動かす習慣を身につけることができる。 最終的には授業内で習得した技法を生かして小作品創作に挑戦し、発表できるようにする。		
授業方法（学習指導法）	授業では、ストレッチ法を紹介しながら筋力・柔軟性アップを図ると共に、様々なダンスの基本テクニックを用いて他者と関わり踊る楽しさを体験する。また後半では振付を覚えて踊ったり、小作品創作を行うなど表現する楽しさを味わう。		
	前半は呼吸を大切にしながら心身を整え、後半では多様なダンスに触れながら友達と関わり合い音楽によって体を動かしていく。最終的には学んだ動きを組み合わせる、独自に動きを考えるなどして作品創作を行う。		
	回	内容	
	1	4月 9日 オリエンテーション	
	2	4月16日 ストレッチ法とボディコントロール	
	3	4月23日 ストレッチ法とボディコントロール	
	4	4月30日 リズム系ダンスの基本テクニックやステップ	
	5	5月 7日 リズム系ダンスの基本テクニックやステップ	
	6	5月14日 リズム系ダンスの基本テクニックやステップ	

授業内容	7	5月21日 コミュニケーションダンス
	8	5月28日 コミュニケーションダンス
	9	6月4日 動きのレパートリーを増やそう～物を使ったダンス～
	10	6月11日 動きのレパートリーを増やそう～物を使ったダンス～
	11	6月18日 動きのレパートリーを増やそう～音楽の感じとダンス～
	12	6月25日 動きのレパートリーを増やそう～言葉を組み合わせるダンス～
	13	7月2日 グループ作品創作
	14	7月9日 グループ作品創作
	15	7月16日 グループ作品創作
	16	7月23日 グループ作品発表会
キーワード	ダンス・ストレッチ・健康・創作	
教科書・教材・参考書	必要に応じて資料を配布する。	
成績評価の方法・基準等	欠席が3回以上の者は失格とする。 授業に対する積極性50％ 創作作品への取り組み、完成度 25％ その他表現・創作能力、レポートなどで総合的に判断し評価する。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する 初心者・経験者大歓迎です。他者を観察し、良い動き・面白い動きを積極的に発見しましょう。 。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002016	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(球技スポーツ)		
編集担当教員	藤木 賢二		
授業担当教員名(科目責任者)	藤木 賢二		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤木 賢二		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M6,T7～T10		
担当教員Eメールアドレス	k-fujiki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館2 F（体育教官室）		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜日12:00～12:45、16:00～16:30		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお、3回欠席すると、原則的に失格になる。		
授業到達目標	ソフトボール、サッカー、テニスの運動効果およびルールを理解する。 ソフトボールにおいては、スローイング、キャッチング、バッティングができる。 テニスにおいては、グランドストローク、ボレー、サーブができる。 サッカーにおいては、ドリブル、パス、シュートができる。 以上より、安全にゲームを行い、スポーツに参加する意識を養う。		
授業方法（学習指導法）	球技スポーツでは、ソフトボール、サッカー、テニスの3種目を行う。		
授業内容	授業内容（概要） ソフトボール、サッカー、テニスをゲーム中心に行う。		
	回	内容	
	1	4月9日 オリエンテーション（種目の決定、授業の概要説明など）	
	2	4月16日 ソフトボール 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習	
	3	4月23日 ソフトボール ゲーム	
	4	4月30日 ソフトボール ゲーム	
	5	5月7日 ソフトボール ゲーム	
	6	5月14日 テニス 運動効果の理解、グループ分け、グランドストローク（フォアハンド、バックハンド）	
	7	5月21日 テニス グランドストローク、ボレー、サーブ	

	8	5月28日 テニス ゲーム（ダブルス）
	9	6月4日 テニス ゲーム（ダブルス、シングルス）
	10	6月11日 テニス ゲーム（シングルス）
	11	6月19日 サッカー 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習、簡易ゲーム
	12	6月25日 サッカー ゲーム
	13	7月2日 サッカー ゲーム
	14	7月9日 サッカー ゲーム
	15	7月16日 サッカー ゲーム
	16	7月23日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		
成績評価の方法・基準等		
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ		





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002017	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バドミントン・バレーボール)		
編集担当教員	府内 勇希		
授業担当教員名(科目責任者)	府内 勇希		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	府内 勇希		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 6、T 7～T 1 0		
担当教員Eメールアドレス	y.funai@nishitan.ac.jp		
担当教員研究室	共用校舎 2 （2階体育教員室）		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	（バレーボール）基本技術を習得し、正確なパスと力強いスパイクを打つことができる。 （バドミントン）基本技術を習得し、様々なフライトを組み合わせてシングルス、ダブルスのゲームができる。		
授業方法（学習指導法）	バレーボール、バドミントンを題材として、基礎的な技術とルールを段階的に習得しながら、ゲームの中で仲間と戦術を生かした様々なプレーができるようにする。また、障害のある人などに対してルールや用具を改変して行う「アダプテッド・スポーツ」についても理解を深める。		
授業内容	基本的には、授業前半に技術練習を行ったうえでゲームを中心に展開する。技能評価については、技術練習の中で実施した内容とする。また、16回目の定期試験については、本講義の総まとめとして実施する。		
	回	内容	
	1	4月 9日 オリエンテーション	
	2	4月 1 6日 バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム	
	3	4月 2 3日 バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム	
	4	5月 7日 バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム	
	5	5月 1 4日 バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム	
	6	5月 2 1日 アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール	
	7	5月 2 8日 アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール	

	8	6月 4日 バレーボール：ゲームと技能評価
	9	6月 1 1日 バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム
	10	6月 1 8日 バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム
	11	6月 2 5日 バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム
	12	7月 2日 バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム
	13	7月 9日 アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン
	14	7月 1 6日 アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン
	15	7月 2 3日 バドミントン：ゲームと技能評価
	16	7月 3 0日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		
成績評価の方法・基準等		
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ		





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002018	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ダンス入門)		
編集担当教員	田中 志保		
授業担当教員名(科目責任者)	田中 志保		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田中 志保		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M6,T7~T10		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	共用校舎 2 （2階体育教員室）		
担当教員TEL	095-847-7568		
担当教員オフィスアワー	毎週水曜日12:30~12:50		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	音楽に合わせて体を動かす楽しさや心地よさ、体力の向上を実感できるようにする。		
授業方法（学習指導法）	毎時間実技を行う。基本的には教員が全体へ指導するが、技術習得のためグループやペアで協力して取り組む場面もある。		
授業内容	本授業では、ダンス（主にストリートダンス）の基本的な動きやステップを段階的に学習し、その習得を図る。毎時間ウォームアップとして、全身のストレッチ と筋力アップの運動を行い、その後、様々なステップや動きを練習する。2～6回目の授業では、授業後半に短い振付を覚えて踊る。7回目の授業では、それま でに学習した振付の技能テストを行う。8回目の授業からはグループに分かれ、協力しながら自由に小作品を創作する。16回目に行う定期試験では、その小作 品を発表する。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション（授業の進め方、注意事項等の説明）	
	2	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック①、振付①	
	3	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック②、振付②	
	4	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック③、振付③	
	5	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック④、振付④	
	6	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑤、振付⑤	
	7	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、技能テスト	
		ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑥、グループ創作①（グルー	

	8	プ分け、創作のすすめ方等の説明)
	9	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑦、グループ創作②
	10	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑧、グループ創作③
	11	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑨、グループ創作④
	12	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑩、グループ創作⑤
	13	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑪、グループ創作⑥
	14	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑫、グループ創作⑦
	15	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑬、グループ創作⑧
	16	定期試験（創作作品発表）
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は用いない。	
成績評価の方法・基準等	授業中の積極的な態度（４０％）、技能テスト（３０％）、定期試験（３０％）を総合的に考慮して評価する。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメイトと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002019	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(球技スポーツ)		
編集担当教員	藤木 賢二		
授業担当教員名(科目責任者)	藤木 賢二		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤木 賢二		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M1～M3,T1・T2		
担当教員Eメールアドレス	k-fujiki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館2F（体育教官室）		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜日12:00～12:45、16:00～16:30		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお、3回欠席すると、原則的に失格になる。		
授業到達目標	ソフトボール、サッカー、テニスの運動効果およびルールを理解する。 ソフトボールにおいては、スローイング、キャッチング、バッティングができる。 テニスにおいては、グランドストローク、ボレー、サーブができる。 サッカーにおいては、ドリブル、パス、シュートができる。 以上より、安全にゲームを行い、スポーツに参加する意識を養う。		
授業方法（学習指導法）	球技スポーツでは、ソフトボール、サッカー、テニスの3種目を行う。		
授業内容	授業内容（概要） ソフトボール、サッカー、テニスをゲーム中心に行う。		
	回	内容	
	1	4月9日 オリエンテーション（種目の決定、授業の概要説明など）	
	2	4月16日 ソフトボール 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習	
	3	4月23日 ソフトボール ゲーム	
	4	4月30日 ソフトボール ゲーム	
	5	5月7日 ソフトボール ゲーム	
	6	5月14日 テニス 運動効果の理解、グループ分け、グランドストローク（フォアハンド、バックハンド）	
	7	5月21日 テニス グランドストローク、ボレー、サーブ	

	8	5月28日 テニス ゲーム（ダブルス）
	9	6月4日 テニス ゲーム（ダブルス、シングルス）
	10	6月11日 テニス ゲーム（シングルス）
	11	6月19日 サッカー 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習、簡易ゲーム
	12	6月25日 サッカー ゲーム
	13	7月2日 サッカー ゲーム
	14	7月9日 サッカー ゲーム
	15	7月16日 サッカー ゲーム
	16	7月23日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		
成績評価の方法・基準等		
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ		





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002020	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バドミントン・バレーボール)		
編集担当教員	府内 勇希		
授業担当教員名(科目責任者)	府内 勇希		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	府内 勇希		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 1～M 3、T 1・T 2		
担当教員Eメールアドレス	y.funai@nishitan.ac.jp		
担当教員研究室	共用校舎 2 （2階体育教員室）		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	（バレーボール）基本技術を習得し、正確なパスと力強いスパイクを打つことができる。 （バドミントン）基本技術を習得し、様々なフライトを組み合わせてシングルス、ダブルスのゲームができる。		
授業方法（学習指導法）	バレーボール、バドミントンを題材として、基礎的な技術とルールを段階的に習得しながら、ゲームの中で仲間と戦術を生かした様々なプレーができるようにする。また、障害のある人などに対してルールや用具を改変して行う「アダプテッド・スポーツ」についても理解を深める。		
授業内容	基本的には、授業前半に技術練習を行ったうえでゲームを中心に展開する。技能評価については、技術練習の中で実施した内容とする。また、16回目の定期試験については、本講義の総まとめとして実施する。		
	回	内容	
	1	4月 9日 オリエンテーション	
	2	4月 1 6日 バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム	
	3	4月 2 3日 バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム	
	4	5月 7日 バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム	
	5	5月 1 4日 バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム	
	6	5月 2 1日 アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール	
	7	5月 2 8日 アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール	

	8	6月 4日 バレーボール：ゲームと技能評価
	9	6月 1 1日 バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム
	10	6月 1 8日 バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム
	11	6月 2 5日 バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム
	12	7月 2日 バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム
	13	7月 9日 アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン
	14	7月 1 6日 アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン
	15	7月 2 3日 バドミントン：ゲームと技能評価
	16	7月 3 0日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	テキストは使用しない。必要に応じて資料や視聴覚教材を使用する。	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度：40%、技能評価30%、定期試験30%	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002021	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(コミュニケーション・ゲーム)		
編集担当教員	小原 達朗		
授業担当教員名(科目責任者)	小原 達朗		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小原 達朗		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	D 1・D 2、F 1～F 3		
担当教員Eメールアドレス	labo@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部252室		
担当教員TEL	095-819-2294		
担当教員オフィスアワー	水曜日17:00～17:45		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格となる。		
授業到達目標	演習で取り上げた課題を理解し、実践できること、バスケットと卓球のスポーツ実践が受講者間で支障なくできること。		
授業方法（学習指導法）	本授業では、スポーツの実践とスポーツを行う身体についてレクチャー及び演習をとおしてりかいすることを目指している。従って、授業の前段の演習と後段のスポーツ実践によって進める。		
授業内容	バスケットと卓球のルールや基本技術・戦術を理解し、技能の向上が図れるように毎時間評価を加えながら実践的に実施する。基本的にはチームやパートに分かれてゲームを中心に実施する。		
	回	内容	
	1	4月9日 オリエンテーション、班分け、ねらい、授業方法、チーム編成	
	2	4月16日 アイスブレイキングⅠ	
	3	4月23日 イニシアチブ。ゲーム	
	4	4月30日 ジャンピング・ゲーム	
	5	5月7日 ジェスチャー・ゲーム	
	6	5月14日 リラクセーション・ゲーム	
	7	5月21日 サインゲームⅠ（ベースボール）	
	8	5月28日 サインゲームⅡ（ベースボール）	

	9	6月4日 ジャンピング。ゲームⅡ
	10	6月11日 スカイツリー
	11	6月18日 イニシアチブ・ゲーム（PA）
	12	6月25日 ソフトドッジ
	13	7月2日 再ゲームⅠ
	14	7月9日 再ゲームⅡ
	15	7月16日 再ゲームⅢ
	16	
キーワード	体力増進、健康維持、スポーツ、実践方法	
教科書・教材・参考書	教科書は不要。必要に応じて資料を配布する。	
成績評価の方法・基準等	1.授業に対する積極的な参加度（配点60％） 2.演習の内容が実践的に到達目標に達していること（配点20％） 3.平常の活動の評価（配点20％） 4.欠席が3回以上の者は失格とする	
受講要件（履修条件）	特になし	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業に出る場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002022	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ニュースポーツ)		
編集担当教員	渡邊 勝平		
授業担当教員名(科目責任者)	渡邊 勝平		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	渡邊 勝平		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 5、T 3～T 6		
担当教員Eメールアドレス	chosho-wata@hotmail.co.jp		
担当教員研究室	共用校舎 2 （2階体育教員室）		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	木曜日12:00～12:50		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる		
授業到達目標	スポーツそのものを周囲と協力しながら楽しむことができる。また既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法を習得し、生涯にわたって気軽に運動・スポーツに取り組むことができるようになる。		
授業方法（学習指導法）	様々なニュースポーツの実践により、既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法や運動実践を行なう。ゲームを中心に実施する。		
授業内容	回	内容	
	1	4月10日 オリエンテーション	
	2	4月17日 アルティメット	
	3	4月24日 アルティメット	
	4	4月25日 アルティメット	
	5	5月1日 アルティメット	
	6	5月8日 グラウンドゴルフ	
	7	5月15日 フットサル	
	8	5月22日 フットサル（ラッカー）	
	9	5月29日 キックベースボール	
	10	6月5日 ディスクゴルフ	

	11	6月12日 ドッジビー
	12	6月19日 ウォーキング&スロージョギング
	13	6月26日 障害者スポーツ（講義）
	14	7月3日 障害者スポーツ
	15	7月10日 ニュースポーツの考案
	16	7月17日 定期試験
キーワード	ニュースポーツ・生涯スポーツ	
教科書・教材・参考書	テキスト、教材は使用しない。必要に応じて関係するビデオや資料を使用する。	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度（70％） 筆記試験（30％） 全期間の欠席が3回以上の場合は原則的に失格となる。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。 これまでにほとんど経験のないと思われる様々なニュースポーツを体験し、生涯スポーツへ繋げていただければと思います。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002023	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ダンス入門)		
編集担当教員	田中 志保		
授業担当教員名(科目責任者)	田中 志保		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田中 志保		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M5,T3~T6		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	共用校舎 2（2階体育教員室）		
担当教員TEL	095-847-7568		
担当教員オフィスアワー	毎週木曜日12:30~12:50		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	音楽に合わせて体を動かす楽しさや心地よさ、体力の向上を実感できるようにする。		
授業方法（学習指導法）	毎時間実技を行う。基本的には教員が全体へ指導するが、技術習得のためグループやペアで協力して取り組む場面もある。		
授業内容	本授業では、ダンス（主にストリートダンス）の基本的な動きやステップを段階的に学習し、その習得を図る。毎時間ウォームアップとして、全身のストレッチ と筋力アップの運動を行い、その後、様々なステップや動きを練習する。2～6回目の授業では、授業後半に短い振付を覚えて踊る。7回目の授業では、それまでに学習した振付の技能テストを行う。8回目の授業からはグループに分かれ、協力しながら自由に小作品を創作する。16回目に行う定期試験では、その小作品を発表する。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション（授業の進め方、注意事項等の説明）	
	2	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック①、振付①	
	3	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック②、振付②	
	4	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック③、振付③	
	5	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック④、振付④	
	6	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑤、振付⑤	
	7	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、技能テスト	
		ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑥、グループ創作①（グルー	

	8	プ分け、創作のすすめ方等の説明)
	9	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑦、グループ創作②
	10	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑧、グループ創作③
	11	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑨、グループ創作④
	12	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑩、グループ創作⑤
	13	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑪、グループ創作⑥
	14	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑫、グループ創作⑦
	15	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑬、グループ創作⑧
	16	定期試験（創作作品発表）
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は用いない。	
成績評価の方法・基準等	授業中の積極的な態度（４０％）、技能テスト（３０％）、定期試験（３０％）を総合的に考慮して評価する。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメイトと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002024	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(テニス・ソフトバレー)		
編集担当教員	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(科目責任者)	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	飛奈 美耶子		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 5、T 3～T 6		
担当教員Eメールアドレス	tobimiyako@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	総合体育館2F体育教官室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	テニス・ソフトバレーの基本動作やルール・マナーを習得し、個々の技能を活かしてゲームの中でさまざまな状況に対応できることを目標とする。		
授業方法（学習指導法）	テニスとソフトバレーの基礎技術を習得し、ゲームを通じて技術の発展・戦略を考えたゲームの展開ができるようにする。また、個人の課題を明確にし、自らで克服していく能力を身に付ける。		
授業内容	回	内容	
	1	4月10日 オリエンテーション	
	2	4月17日 テニスの各ショットの習得	
	3	4月24日 テニスの各ショットの習得	
	4	5月 1日 テニスのダブルスゲーム	
	5	5月 8日 テニスのシングルスゲーム	
	6	5月15日 テニスチーム対抗戦①	
	7	5月22日 テニスチーム対抗戦②	
	8	5月29日 テニスチーム対抗戦③	
	9	6月 5日 ソフトバレーの基本動作の習得	
	10	6月12日 ソフトバレーの基本動作の習得	

	11	6月19日 ソフトバレーの基本動作の習得
	12	6月26日 ソフトバレーのゲーム
	13	7月 3日 ソフトバレーチーム対抗戦①
	14	7月10日 ソフトバレーチーム対抗戦②
	15	7月17日 ソフトバレーチーム対抗戦③
	16	7月24日 筆記試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加 50% 授業への取り組み方 20% 筆記試験及び技術の上達度 30% ただし、欠席が3回以上の者は失格とする。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002025	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ニュースポーツ)		
編集担当教員	渡邊 勝平		
授業担当教員名(科目責任者)	渡邊 勝平		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	渡邊 勝平		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 4、K 1～K3		
担当教員Eメールアドレス	chosho-wata@hotmail.co.jp		
担当教員研究室	共用校舎2（2階体育教員室）		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	木曜日12:00～12:50		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる		
授業到達目標	スポーツそのものを周囲と協力しながら楽しむことができる。また既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法を習得し、生涯にわたって気軽に運動・スポーツに取り組むことができるようになる。		
授業方法（学習指導法）	様々なニュースポーツの実践により、既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法や運動実践を行なう。ゲームを中心に実施する。		
授業内容	回	内容	
	1	4月10日 オリエンテーション	
	2	4月17日 アルティメット	
	3	4月24日 アルティメット	
	4	5月1日 アルティメット	
	5	5月8日 アルティメット	
	6	5月15日 グラウンドゴルフ	
	7	5月22日 フットサル	
	8	5月29日 フットサル（ラッカー）	
	9	6月5日 キックベースボール	
	10	6月12日 ディスクゴルフ	

	11	6月19日 ドッジビー
	12	6月26日 ウォーキング&スロージョギング
	13	7月3日 障害者スポーツ（講義）
	14	7月10日 障害者スポーツ
	15	7月17日 ニュースポーツの考案
	16	7月24日 定期試験
キーワード	ニュースポーツ・生涯スポーツ	
教科書・教材・参考書	テキスト、教材は使用しない。必要に応じて関係するビデオや資料を使用する。	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度（70％） 筆記試験（30％） 全期間の欠席が3回以上の場合は原則的に失格となる。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。 これまであまり経験のないと思われる様々なニュースポーツを体験し、生涯スポーツへ繋がればと思います。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002026	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ダンス入門)		
編集担当教員	田中 志保		
授業担当教員名(科目責任者)	田中 志保		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田中 志保		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M4,K1~K3		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	共用校舎 2（2階体育教員室）		
担当教員TEL	095-847-7568		
担当教員オフィスアワー	毎週木曜日12:30~12:50		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	音楽に合わせて体を動かす楽しさや心地よさ、体力の向上を実感できるようにする。		
授業方法（学習指導法）	毎時間実技を行う。基本的には教員が全体へ指導するが、技術習得のためグループやペアで協力して取り組む場面もある。		
授業内容	本授業では、ダンス（主にストリートダンス）の基本的な動きやステップを段階的に学習し、その習得を図る。毎時間ウォームアップとして、全身のストレッチ と筋力アップの運動を行い、その後、様々なステップや動きを練習する。2～6回目の授業では、授業後半に短い振付を覚えて踊る。7回目の授業では、それま でに学習した振付の技能テストを行う。8回目の授業からはグループに分かれ、協力しながら自由に小作品を創作する。16回目に行う定期試験では、その小作 品を発表する。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション（授業の進め方、注意事項等の説明）	
	2	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニク①、振付①	
	3	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニク②、振付②	
	4	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニク③、振付③	
	5	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニク④、振付④	
	6	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニク⑤、振付⑤	
	7	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、技能テスト	
		ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニク⑥、グループ創作①（グルー	

	8	プ分け、創作のすすめ方等の説明)
	9	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑦、グループ創作②
	10	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑧、グループ創作③
	11	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑨、グループ創作④
	12	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑩、グループ創作⑤
	13	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑪、グループ創作⑥
	14	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑫、グループ創作⑦
	15	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑬、グループ創作⑧
	16	定期試験（創作作品発表）
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は用いない。	
成績評価の方法・基準等	授業中の積極的な態度（４０％）、技能テスト（３０％）、定期試験（３０％）を総合的に考慮して評価する。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメイトと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002027	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(テニス・ソフトバレー)		
編集担当教員	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(科目責任者)	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	飛奈 美耶子		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 4、K 1～K 3		
担当教員Eメールアドレス	tobimiyako@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	総合体育館2F体育教官室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	テニス・ソフトバレーの基本動作やルール・マナーを習得し、個々の技能を活かしてゲームの中でさまざまな状況に対応できることを目標とする。		
授業方法（学習指導法）	テニスとソフトバレーの基礎技術を習得し、ゲームを通じて技術の発展・戦略を考えたゲームの展開ができるようにする。また、個人の課題を明確にし、自らで克服していく能力を身に付ける。		
授業内容	回	内容	
	1	4月10日 オリエンテーション	
	2	4月17日 テニスの各ショットの習得	
	3	4月24日 テニスの各ショットの習得	
	4	5月 1日 テニスのダブルスゲーム	
	5	5月 8日 テニスのシングルスゲーム	
	6	5月15日 テニスチーム対抗戦①	
	7	5月22日 テニスチーム対抗戦②	
	8	5月29日 テニスチーム対抗戦③	
	9	6月 5日 ソフトバレーの基本動作の習得	
	10	6月12日 ソフトバレーの基本動作の習得	

	11	6月19日 ソフトバレーの基本動作の習得
	12	6月26日 ソフトバレーのゲーム
	13	7月 3日 ソフトバレーチーム対抗戦①
	14	7月10日 ソフトバレーチーム対抗戦②
	15	7月17日 ソフトバレーチーム対抗戦③
	16	7月24日 筆記試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加 50% 授業への取り組み方 20% 筆記試験及び技術の上達度 30% ただし、欠席が3回以上の者は失格とする。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002028	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(フライングディスク)		
編集担当教員	中垣内 真樹		
授業担当教員名(科目責任者)	中垣内 真樹		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中垣内 真樹		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	G1～G3		
担当教員Eメールアドレス	gaichi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部保健学科体育館2F中垣内研究室		
担当教員TEL	095-819-7966		
担当教員オフィスアワー	月曜日 10：30～12：30、16：00～17：00		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる		
授業到達目標	フライングディスクを正確に投げることができる。アルティメットのルールや戦術を理解し（説明でき）、チーム（個々の技能）の特性を活かして楽しくゲームができる戦術をチームメイトと討論し、ゲームを実践することができる。		
授業方法（学習指導法）	ニュースポーツの一種である「フライングディスク」を題材として、フライングディスクを正確に投げる技術から、最終的には「アルティメット」と呼ばれる集団競技を楽しむ技術や戦術を習得する。		
	フライングディスクの基礎的技術からフライングディスクを用いた数種のゲームを体験し、最終的にはアルティメットのルールや戦術を理解し、ゲームを実践する。		
	回	内容	
	1	9月29日 オリエンテーション（授業のすすめ方 ねらい）	
	2	10月6日 技術テスト 基本スローの習得 バックハンスロー	
	3	10月20日 基本スローの習得 バックハンスロー	
	4	10月27日 応用スローの習得 カーブスロー レクリエーションゲーム：アキュラシー	
	5	11月10日 応用スローの習得 サイドアームスロー レクリエーションゲーム：ドッチビー	
	6	11月17日 応用スローの習得 フリースロー レクリエーションゲーム：ポートボールのルールでのゲーム	

授業内容	7	12月1日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得
	8	12月8日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得
	9	12月15日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える
	10	12月22日 ライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える
	11	1月5日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
	12	1月19日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
	13	1月26日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
	14	1月27日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 ゲームのまとめ
	15	2月2日 技術テスト 自身の技術の向上を確認
	16	
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は使わない 参考書：フライングディスクのすすめ （編）日本フライングディスク協会 ベースボールマガジン社	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度50% 技能テスト30% 集団技能（ゲームの勝敗やゲームの内容をチーム毎に評価する）20% 授業中の課題に対する積極的な取り組み状況および集団での戦術の討論などへの積極参画などを評価する。欠席が3回以上の者は失格とする。授業前後での技術テストによる技能の向上と基本スローの習得状況を評価する。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002029	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ダンス入門)		
編集担当教員	田中 志保		
授業担当教員名(科目責任者)	田中 志保		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田中 志保		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	G1～G3		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	共用校舎 2 （2階体育教員室）		
担当教員TEL	095-847-7568		
担当教員オフィスアワー	毎週月曜日12:30～12:50		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	音楽に合わせて体を動かす楽しさや心地よさ、体力の向上を実感できるようにする。		
授業方法（学習指導法）	毎時間実技を行う。基本的には教員が全体へ指導するが、技術習得のためグループやペアで協力して取り組む場面もある。		
授業内容	本授業では、ダンス（主にストリートダンス）の基本的な動きやステップを段階的に学習し、その習得を図る。毎時間ウォームアップとして、全身のストレッチ と筋力アップの運動を行い、その後、様々なステップや動きを練習する。2～6回目の授業では、授業後半に短い振付を覚えて踊る。7回目の授業では、それま でに学習した振付の技能テストを行う。8回目の授業からはグループに分かれ、協力しながら自由に小作品を創作する。16回目に行う定期試験では、その小作 品を発表する。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション（授業の進め方、注意事項等の説明）	
	2	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック①、振付①	
	3	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック②、振付②	
	4	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック③、振付③	
	5	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック④、振付④	
	6	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑤、振付⑤	
	7	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、技能テスト	
		ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑥、グループ創作①（グルー	

	8	プ分け、創作のすすめ方等の説明)
	9	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑦、グループ創作②
	10	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑧、グループ創作③
	11	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑨、グループ創作④
	12	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑩、グループ創作⑤
	13	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑪、グループ創作⑥
	14	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑫、グループ創作⑦
	15	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑬、グループ創作⑧
	16	定期試験（創作作品発表）
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は用いない。	
成績評価の方法・基準等	授業中の積極的な態度（４０％）、技能テスト（３０％）、定期試験（３０％）を総合的に考慮して評価する。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメイトと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002030	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ラケットスポーツ)		
編集担当教員	西澤 昭		
授業担当教員名(科目責任者)	西澤 昭		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	西澤 昭		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	G1～G3		
担当教員Eメールアドレス	nishisho@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部新館552		
担当教員TEL	095-819-2356		
担当教員オフィスアワー	木曜12:00～14:30		
授業の概要及び位置づけ	授業の概要及び位置づけ：様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツ に親しむことのできる基礎知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる		
授業到達目標	テニス、バドミントン、卓球といった親しみやすいスポーツであるので基本的な技術とルール、試合のマナーを身につけ、市民大会レベルのものに参加できるようになることを目標とする。		
授業方法（学習指導法）	授業方法：本演習ではできるだけ親しみのあるスポーツをとりあげ、手軽に実施できることで生涯にわたって実践できるようになれることを主なねらいとする。		
授業内容	授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 授業内容（概要） これまでに経験し、親しみのあると思われる以下のスポーツを通じて、運動の身体的効果やレクリエーションの考え方、生涯スポーツの実施法などを学習する。基本的にチームに分かれてゲームを中心に実施する。		
	回	内容	
	1	9月29日 オリエンテーション（クラス分けなど）	
	2	10月6日 テニスのルールとたのしみ方	
	3	10月20日 テニスのゲーム(1)	
	4	10月27日 テニスのゲーム(2)	
	5	11月10日 テニスのゲーム(3)	
	6	11月17日 テニスのゲーム(4)	

	7	12月1日 バドミントンのたのしみ方
	8	12月8日 バドミントンのルールとゲーム
	9	12月15日 バドミントンのゲーム(1)
	10	12月22日 バドミントンのゲーム(2)
	11	1月5日 バドミントンのゲーム(3)
	12	1月19日 卓球のルールとたのしみ方
	13	1月26日 卓球のゲーム(1)
	14	1月27日 卓球のゲーム(2)
	15	2月2日 卓球のゲーム(3)
	16	
キーワード	生涯スポーツ、ラケットスポーツ	
教科書・教材・参考書	必要に応じハンドアウトを配布する。	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加の様態とチームに対する貢献度(50%)、技術の上達の程度(10%)、試合に発揮された技能・技術の上達度(40%)などを総 合的に評価する。ただし、全期間の欠席が3回以上の場合には原則として失格になる。	
受講要件（履修条件）	特になし	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002031	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(フライングディスク)		
編集担当教員	中垣内 真樹		
授業担当教員名(科目責任者)	中垣内 真樹		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中垣内 真樹		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	E1～E4		
担当教員Eメールアドレス	gaichi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部保健学科体育館2F中垣内研究室		
担当教員TEL	095-819-7966		
担当教員オフィスアワー	月曜日 10：30～12：30、16：00～17：00		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる		
授業到達目標	フライングディスクを正確に投げることができる。アルティメットのルールや戦術を理解し（説明でき）、チーム（個々の技能）の特性を活かして楽しくゲームができる戦術をチームメイトと討論し、ゲームを実践することができる。		
授業方法（学習指導法）	ニュースポーツの一種である「フライングディスク」を題材として、フライングディスクを正確に投げる技術から、最終的には「アルティメット」と呼ばれる集団競技を楽しむ技術や戦術を習得する。		
	フライングディスクの基礎的技術からフライングディスクを用いた数種のゲームを体験し、最終的にはアルティメットのルールや戦術を理解し、ゲームを実践する。		
	回	内容	
	1	9月29日 オリエンテーション（授業のすすめ方 ねらい）	
	2	10月6日 技術テスト 基本スローの習得 バックハンドスロー	
	3	10月20日 基本スローの習得 バックハンドスロー	
	4	10月27日 応用スローの習得 カーブスロー レクリエーションゲーム：アキュラシー	
	5	11月10日 応用スローの習得 サイドアームスロー レクリエーションゲーム：ドッチビー	
	6	11月17日 応用スローの習得 フリースロー レクリエーションゲーム：ポートボールのルールでのゲーム	

授業内容	7	12月1日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得
	8	12月8日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット ルールの習得
	9	12月15日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える
	10	12月22日 ライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える
	11	1月5日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
	12	1月19日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
	13	1月26日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦
	14	1月27日 フライングディスクのゲームを楽しむ アルティメット チーム戦略を考える リーグ戦 ゲームのまとめ
	15	2月2日 技術テスト 自身の技術の向上を確認
	16	
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は使わない 参考書：フライングディスクのすすめ （編）日本フライングディスク協会 ベースボールマガジン社	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度50% 技能テスト30% 集団技能（ゲームの勝敗やゲームの内容をチーム毎に評価する）20% 授業中の課題に対する積極的な取り組み状況および集団での戦術の討論などへの積極参画などを評価する。欠席が3回以上の者は失格とする。授業前後での技術テストによる技能の向上と基本スローの習得状況を評価する。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002032	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ダンス入門)		
編集担当教員	田中 志保		
授業担当教員名(科目責任者)	田中 志保		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田中 志保		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	E1～E4		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	共用校舎 2 （2階体育教員室）		
担当教員TEL	095-847-7568		
担当教員オフィスアワー	毎週月曜日12:30～12:50		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	音楽に合わせて体を動かす楽しさや心地よさ、体力の向上を実感できるようにする。		
授業方法（学習指導法）	毎時間実技を行う。基本的には教員が全体へ指導するが、技術習得のためグループやペアで協力して取り組む場面もある。		
授業内容	本授業では、ダンス（主にストリートダンス）の基本的な動きやステップを段階的に学習し、その習得を図る。毎時間ウォームアップとして、全身のストレッチ と筋力アップの運動を行い、その後、様々なステップや動きを練習する。2～6回目の授業では、授業後半に短い振付を覚えて踊る。7回目の授業では、それま でに学習した振付の技能テストを行う。8回目の授業からはグループに分かれ、協力しながら自由に小作品を創作する。16回目に行う定期試験では、その小作 品を発表する。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション（授業の進め方、注意事項等の説明）	
	2	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック①、振付①	
	3	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック②、振付②	
	4	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック③、振付③	
	5	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック④、振付④	
	6	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑤、振付⑤	
	7	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、技能テスト	
		ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑥、グループ創作①（グルー	

	8	プ分け、創作のすすめ方等の説明)
	9	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑦、グループ創作②
	10	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑧、グループ創作③
	11	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑨、グループ創作④
	12	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑩、グループ創作⑤
	13	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑪、グループ創作⑥
	14	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑫、グループ創作⑦
	15	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑬、グループ創作⑧
	16	定期試験（創作作品発表）
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は用いない。	
成績評価の方法・基準等	授業中の積極的な態度（４０％）、技能テスト（３０％）、定期試験（３０％）を総合的に考慮して評価する。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメイトと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002033	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バドミントン・卓球)		
編集担当教員	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(科目責任者)	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	飛奈 美耶子		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	E1～E4		
担当教員Eメールアドレス	tobimiyako@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	総合体育館2F体育教官室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる		
授業到達目標	バドミントン・卓球において、ラリーを続けることができる。また、習得した個々の技能を活かし、ゲームの中でさまざまな状況に対応できる。		
授業方法（学習指導法）	バドミントンと卓球の基礎技術を習得し、ゲームを通じて技術の発展、戦略を考えたゲームの展開ができるようにする。また、個人の課題を明確にし、自らで克服していく能力を身に付ける。		
授業内容	回	内容	
	1	9月29日 オリエンテーション	
	2	10月6日 バドミントンの各ショットの習得	
	3	10月20日 バドミントンの各ショットの習得	
	4	10月27日 バドミントンのシングルスゲーム	
	5	11月10日 バドミントンのダブルスゲーム	
	6	11月17日 バドミントンチーム対抗戦①	
	7	12月1日 バドミントンチーム対抗戦②	
	8	12月8日 バドミントンチーム対抗戦③	
	9	12月15日 卓球の基本動作の習得	
	10	12月22日 卓球の基本動作の習得	

	11	1月5日 卓球のシングルスゲーム
	12	1月19日 卓球のダブルスゲーム
	13	1月26日 卓球チーム対抗戦①
	14	1月27日 卓球チーム対抗戦②
	15	2月2日 卓球チーム対抗戦③
	16	2月9日 筆記試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加50％ 授業への取り組み方20％ 筆記試験及び技術の上達度30％ ただし、欠席が3回以上の者は失格とする。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002034	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バレーボール・バドミントン)		
編集担当教員	熊野 晃三		
授業担当教員名(科目責任者)	熊野 晃三		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	熊野 晃三		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	L 1～L 4		
担当教員Eメールアドレス	kumano@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館 2 階（体育教官室）		
担当教員TEL	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー	火曜日12：20～12：50		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	獲得しようとする技術が、どのように構成されているかということのを的確に認識し、スモールステップを踏みながら着実に習得していく。 獲得した技能をできるだけ試合の中で実践できるように努めていく。 技能習得の合理的な方法を身につけ、生涯を通じてスポーツ活動に親しむ能力と態度を養う。		
授業方法（学習指導法）	体育館を中心に、各種目についての解説、ならびに技術習得を行う。 習得した技能を活かしながら、積極的にそれらが発現できるような試合を展開していく。		
	基本的なレクリエーションワークを実践する。 バレーボールのスパイク技術を習得する。スパイクを交えたゲームが展開できるようにする。 バドミントンの基本的なルールおよび技術を習得する。戦術を意識したゲームが展開できるようにする。 リーグ戦の対戦表が完成できるようにする。		
	回	内容	
	1	9月30日 オリエンテーション（コース別演習のコース決定など）	
	2	10月7日 演習1（レクリエーション）レクリエーションワークの解説と実習	
	3	10月14日 演習2（バレーボール）技術習得の方法論と解説、オーバーハンドパス	
	4	10月21日 演習3 // アンダーハンドパス、スパイク	
	5	10月28日 演習4 // スパイク、サーブ、異質グループによるゲーム①	

授業内容	6	11月4日 演習5 // 異質グループによるゲーム②
	7	11月11日 演習6 // 異質グループによるゲーム③
	8	11月18日 演習7 // ソフトバレーボール
	9	11月25日 演習8 (バドミントン) 解説と基本ストローク
	10	12月2日 演習9 // シングルスゲームの説明、異質グループによるリーグ戦
	11	12月9日 演習10 // 等質グループによるリーグ戦①
	12	12月16日 演習11 // 等質グループによるリーグ戦②
	13	1月6日 演習12 // 等質グループによるリーグ戦③
	14	1月13日 演習13 // ダブルスゲームの説明、等質グループによるリーグ戦①
	15	1月20日 演習14 // 等質グループによるリーグ戦②
	16	2月3日もしくは2月10日 定期試験
キーワード	生涯スポーツ、合理的な技術習得、スポーツ文化	
教科書・教材・参考書	教材：必要に応じて授業計画にそったプリントを配布する	
成績評価の方法・基準等	授業への取り組み方、および態度：20% 実技試験：40% 筆記試験：40% 全授業への出席を原則とし、実技試験、授業への参加状況、筆記試験などによって総合的に評価する。 ただし、全期間の欠席が3回以上の場合には原則として失格になる。	
受講要件（履修条件）	演習では、指定したユニフォームは特にはないが、動きやすいスポーツウェアに着替えて出席すること。 屋内での授業実施に際しては、必ず、屋内用の体育館シューズを準備しておくこと。 イヤリングなどの装飾品は、はずしておくこと。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002035	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バドミントン・卓球他)		
編集担当教員	山内 正毅		
授業担当教員名(科目責任者)	山内 正毅		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山内 正毅		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	L 1～L 4		
担当教員Eメールアドレス	yamauchi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部本館 1 階109		
担当教員TEL	095-819-2356		
担当教員オフィスアワー	木曜3校時		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる		
授業到達目標	・教材として取り上げた運動・スポーツの技能や自立的な実践方法を獲得する。 ・運動・スポーツと健康との関わりを理解し、運動量と主観的運動強度、心拍数（HR）、エネルギー消費量等の関係を自覚する。		
授業方法（学習指導法）	さまざまなスポーツ、ジョギングやダンスによる有酸素運動、リラクセーションにかかわる運動を教材として運動・スポーツ及びからだや健康に関する教養教育を行う。		
	現代社会における心身のコンディショニングの重要性やメカニズムを理解し、それらに対する運動、スポーツの関わり方、実践方法などをバドミントン、卓球、ジョギング等の教材を用いて演習する。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション	
	2	体づくりの方法とリラクゼーションの基本的な実践方法を学ぶ（屋内）	
	3	バドミントン（演習、実技）（屋内） 技能チェック バドミントンの基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度の関係を学ぶ	
		バドミントン（演習、実技）（屋内） （カロリーカウンター）	

授業内容	4	バドミントンの基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度の関係を学ぶ
	5	バドミントン（演習、実技）（屋内） バドミントンの基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度の関係を学ぶ
	6	バドミントン（演習、実技）（屋内） バドミントンの基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度の関係を学ぶ
	7	バドミントン（演習、実技）（屋内） （カロリーカウンター 使用） バドミントンの基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度の関係を学ぶ
	8	ウォーキングとジョギング（屋内） （カロリーカウンター 使用） ウォーキング、ジョギング、ランニングと運動強度を変えてエネルギー消費を測定する。運動量とエネルギー消費、HRと主観的運動強度の関係を各自のデータを用いて学ぶ
	9	卓球（屋内） （カロリーカウンター） 技能チェック 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ
	10	卓球（屋内） （カロリーカウンターor心拍数測定装置 使用） 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ
	11	卓球（屋内）（カロリーカウンター 使用） 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ
	12	卓球（屋内） 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ
	13	卓球（屋内） 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ
	14	卓球（屋内） 技能チェック （カロリーカウンターor心拍数測定装置 使用） 卓球の基本的な技能を学習しながら運動量とエネルギー消費、HR、主観的運動強度との関係を学ぶ
	15	授業のまとめ（総括試合）、レポート（解説） 測定した自分のデータをもとに、各自の身体能力を知るとともに運動強度とからだの関係について考える。 以上のスポーツ種目、実施の順序、場所は、天候や施設の都合で変更することもあるので注意すること。
	16	
キーワード	バドミントン、卓球、主観的運動強度、QOL	
教科書・教材・参考書	必要な資料はプリントして配布する。	
成績評価の方法・基準等	授業への参加状況と取り組みの意欲（50%）、技術の上達（10%）、理解度（最後にレポートの提出、40%）など総合的に評価する。ただし、全期間の欠席が2回を越える場合には原則として失格となる。	
受講要件（履修条件）	服装等，ルールに従い，クラスの成員と協力しあうこと。体調を自己管理し，欠席しないようにすることも本授業の内容にかかわってくるのでこの点も注意すること。	
備考（URL）		

学生へのメッセージ

授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002036	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(テニス・ソフトバレー)		
編集担当教員	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(科目責任者)	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	飛奈 美耶子		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	L 1～L 4		
担当教員Eメールアドレス	tobimiyako@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	総合体育館2F体育教官室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	テニス・ソフトバレーの基本動作やルール・マナーを習得し、個々の技能を活かしてゲームの中でさまざまな状況に対応できることを目標とする。		
授業方法（学習指導法）	テニスとソフトバレーの基礎技術を習得し、ゲームを通じて技術の発展・戦略を考えたゲームの展開ができるようにする。また、個人の課題を明確にし、自らで克服していく能力を身に付ける。		
授業内容	回	内容	
	1	9月30日 オリエンテーション	
	2	10月7日 テニスの各ショットの習得	
	3	10月14日 テニスの各ショットの習得	
	4	10月21日 テニスのダブルスゲーム	
	5	10月28日 テニスのシングルスゲーム	
	6	11月4日 テニスチーム対抗戦①	
	7	11月11日 テニスチーム対抗戦②	
	8	11月18日 テニスチーム対抗戦③	
	9	11月25日 ソフトバレーの基本動作の習得	
	10	12月2日 ソフトバレーの基本動作の習得	

	11	1 2 月 9 日 ソフトバレーの基本動作の習得
	12	1 2 月 1 6 日 ソフトバレーのゲーム
	13	1 月 6 日 ソフトバレーチーム対抗戦①
	14	1 月 1 3 日 ソフトバレーチーム対抗戦②
	15	1 月 2 0 日 ソフトバレーチーム対抗戦③
	16	2 月 3 日 筆記試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加 5 0 % 授業への取り組み方 2 0 % 筆記試験及び技術の上達度 3 0 % ただし、欠席が 3 回以上の者は失格とする。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002037	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バレーボール・バドミントン)		
編集担当教員	熊野 晃三		
授業担当教員名(科目責任者)	熊野 晃三		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	熊野 晃三		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	L 5・L 6・P 1・P 2		
担当教員Eメールアドレス	kumano@n-junshin.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館 2 階（体育教官室）		
担当教員TEL	095-846-0084		
担当教員オフィスアワー	火曜日12：20～12：50		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	獲得しようとする技術が、どのように構成されているかということのを的確に認識し、スモールステップを踏みながら着実に習得していく。 獲得した技能をできるだけ試合の中で実践できるように努めていく。 技能習得の合理的な方法を身につけ、生涯を通じてスポーツ活動に親しむ能力と態度を養う。		
授業方法（学習指導法）	体育館を中心に、各種目についての解説、ならびに技術習得を行う。 習得した技能を活かしながら、積極的にそれらが発現できるような試合を展開していく。		
	基本的なレクリエーションワークを実践する。 バレーボールのスパイク技術を習得する。スパイクを交えたゲームが展開できるようにする。 バドミントンの基本的なルールおよび技術を習得する。戦術を意識したゲームが展開できるようにする。 リーグ戦の対戦表が完成できるようにする。		
	回	内容	
	1	9月30日 オリエンテーション（コース別演習のコース決定など）	
	2	10月7日 演習1（レクリエーション）レクリエーションワークの解説と実習	
	3	10月14日 演習2（バレーボール）技術習得の方法論と解説、オーバーハンドパス	
	4	10月21日 演習3 // アンダーハンドパス、スパイク	
	5	10月28日 演習4 // スパイク、サーブ、異質グループによるゲーム①	

授業内容	6	11月4日 演習5 // 異質グループによるゲーム②
	7	11月11日 演習6 // 異質グループによるゲーム③
	8	11月18日 演習7 // ソフトバレーボール
	9	11月25日 演習8 (バドミントン) 解説と基本ストローク
	10	12月2日 演習9 // シングルスゲームの説明、異質グループによるリーグ戦
	11	12月9日 演習10 // 等質グループによるリーグ戦①
	12	12月16日 演習11 // 等質グループによるリーグ戦②
	13	1月6日 演習12 // 等質グループによるリーグ戦③
	14	1月13日 演習13 // ダブルスゲームの説明、等質グループによるリーグ戦①
	15	1月20日 演習14 // 等質グループによるリーグ戦②
	16	2月3日もしくは2月10日 定期試験
キーワード	生涯スポーツ、合理的な技術習得、スポーツ文化	
教科書・教材・参考書	教材：必要に応じて授業計画にそったプリントを配布する	
成績評価の方法・基準等	授業への取り組み方、および態度：20% 実技試験：40% 筆記試験：40% 全授業への出席を原則とし、実技試験、授業への参加状況、筆記試験などによって総合的に評価する。 ただし、全期間の欠席が3回以上の場合には原則として失格になる。	
受講要件（履修条件）	演習では、指定したユニフォームは特にはないが、動きやすいスポーツウェアに着替えて出席すること。 屋内での授業実施に際しては、必ず、屋内用の体育館シューズを準備しておくこと。 イヤリングなどの装飾品は、はずしておくこと。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002038	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(サッカー)		
編集担当教員	高橋 浩二		
授業担当教員名(科目責任者)	高橋 浩二		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	高橋 浩二		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	L 5・L 6、P 1・P 2		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	教育学部・本館 1 1 0 研究室		
担当教員TEL	2 3 5 8		
担当教員オフィスアワー	随時（事前予約のこと）		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化，ルール，技術を習得し，生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ，実践しようとする意識を育む科目である．そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが，内容についてはシラバスを参照すること．なお3回欠席すると原則的に失格になる．		
授業到達目標	・自己及びチームの課題を発見し，練習計画表を作成することができる． ・ルールや戦術を理解し，チームや個々の技能の特性を生かしてゲームができる戦術を考えることができる． ・チームメイトと討論し，自己及びチームの課題を計画表として作成し，練習及びゲームを実践することができる．		
授業方法（学習指導法）	・このクラスでは，サッカーの知識・理論を学習し，技術・戦術を実践的に習得するが，そのための思考能力と方法的能力を育成する．授業は男女共習のチーム 学習の形態で行い，チームごとに学習内容を「計画」し「実践」する．その後「ふりかえり」を行い，チーム内での課題の発見とその解決について検討する． ・毎時間チームごとに学習内容を計画しながら実践する．計画した内容をゲーム等で実践することによって，サッカーの基礎的技術を習得し，ルールや戦術の理解を深める．受講者にはチームや自己に対する理性的な評価・批判と主体的な態度・意欲が求められる．授業ごとに毎回作成される計画表は，授業後に提出し，評価を受けた後に次回の立案者に渡される．		
	回	内容	
	1	オリエンテーション（クラス分け）	
	2	グルーピング，授業展開方法の説明，軽度の運動	
	3	グループ学習 1（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・ボールフィーリング（タッチ・リフト・ターン）の学習	
		グループ学習 2（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり）	

授業内容	4	・ドリブル及びシュートの学習
	5	グループ学習 3（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・トラップ及びルール（オフサイド）の学習
	6	グループ学習 4（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・キック三種（インサイド、インステップ、アウトサイド）の学習 ・パス（1対1, 多対多）の学習
	7	グループ学習 5（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・オフENSE及びディフェンス（1対1）の学習
	8	グループ学習 6（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・オフENSE及びディフェンス（2対1, 2対2）の学習
	9	グループ学習 7（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・オフENSE及びディフェンス（3人以上対3人以上）の学習
	10	グループ学習 8（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・チームで採用する戦術の学習
	11	グループ学習 9（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・チームで採用する戦術の学習
	12	グループ学習 10（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・チームに必要な技術の強化
	13	グループ学習 11（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・チームに必要な技術の強化
	14	グループ学習 12（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・総合的な練習
	15	グループ学習 13（準備運動→練習→ゲーム→ふりかえり） ・総合的な練習
	16	試験
キーワード	スポーツ文化としてのサッカー，他者との運動実践，行為的省察	
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない．必要に応じて資料を配付する．	
成績評価の方法・基準等	以下の割合で総合的に評価し，60％以上の評点を合格とする． 欠席が3回以上の者，試験を受験しない者は失格とする． （評価の割合） 授業に対する積極的な取り組み 10％ 計画表 25％ 個人技能・集団技能（練習やゲームの内容をチーム毎に評価する） 25％ 筆記試験 40％	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう，チームメートと心理的な面も含めて協力しよう，楽しくやろうという態度で臨んでほしい．身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する．	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002039	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(テニス・ソフトバレー)		
編集担当教員	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(科目責任者)	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	飛奈 美耶子		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	L 5、L 6、P 1、P 2		
担当教員Eメールアドレス	tobimiyako@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	総合体育館2F体育教官室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	テニス・ソフトバレーの基本動作やルール・マナーを習得し、個々の技能を活かしてゲームの中でさまざまな状況に対応できることを目標とする。		
授業方法（学習指導法）	テニスとソフトバレーの基礎技術を習得し、ゲームを通じて技術の発展・戦略を考えたゲームの展開ができるようにする。また、個人の課題を明確にし、自らで克服していく能力を身に付ける。		
授業内容	回	内容	
	1	9月30日 オリエンテーション	
	2	10月7日 テニスの各ショットの習得	
	3	10月14日 テニスの各ショットの習得	
	4	10月21日 テニスのダブルスゲーム	
	5	10月28日 テニスのシングルスゲーム	
	6	11月4日 テニスチーム対抗戦①	
	7	11月11日 テニスチーム対抗戦②	
	8	11月18日 テニスチーム対抗戦③	
	9	11月25日 ソフトバレーの基本動作の習得	
	10	12月2日 ソフトバレーの基本動作の習得	

	11	1 2 月 9 日 ソフトバレーの基本動作の習得
	12	1 2 月 1 6 日 ソフトバレーのゲーム
	13	1 月 6 日 ソフトバレーチーム対抗戦①
	14	1 月 1 3 日 ソフトバレーチーム対抗戦②
	15	1 月 2 0 日 ソフトバレーチーム対抗戦③
	16	2 月 3 日 筆記試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加 5 0 % 授業への取り組み方 2 0 % 筆記試験及び技術の上達度 3 0 % ただし、欠席が 3 回以上の者は失格とする。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002040	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(球技スポーツ)		
編集担当教員	藤木 賢二		
授業担当教員名(科目責任者)	藤木 賢二		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤木 賢二		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	D1・D2、F1～F3		
担当教員Eメールアドレス	k-fujiki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館2F（体育教官室）		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜日12:00～12:45、16:00～16:30		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお、3回欠席すると、原則的に失格になる。		
授業到達目標	ソフトボール、サッカー、テニスの運動効果およびルールを理解する。 ソフトボールにおいては、スローイング、キャッチング、バッティングができる。 テニスにおいては、グランドストローク、ボレー、サーブができる。 サッカーにおいては、ドリブル、パス、シュートができる。 以上より、安全にゲームを行い、スポーツに参加する意識を養う。		
授業方法（学習指導法）	球技スポーツでは、ソフトボール、サッカー、テニスの3種目を行う。		
授業内容	授業内容（概要） ソフトボール、サッカー、テニスをゲーム中心に行う。		
	回	内容	
	1	10月1日 オリエンテーション（種目の決定、授業の概要説明など）	
	2	10月8日 ソフトボール 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習	
	3	10月15日 ソフトボール ゲーム	
	4	10月22日 ソフトボール ゲーム	
	5	10月29日 ソフトボール ゲーム	
	6	11月5日 テニス 運動効果の理解、グループ分け、グランドストローク（フォアハンド、バックハンド）	
	7	11月12日 テニス グランドストローク、ボレー、サーブ	

	8	11月19日 テニス ゲーム（ダブルス）
	9	11月26日 テニス ゲーム（ダブルス、シングルス）
	10	12月3日 テニス ゲーム（シングルス）
	11	12月10日 サッカー 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習、簡易ゲーム
	12	12月17日 サッカー ゲーム
	13	12月24日 サッカー ゲーム
	14	1月7日 サッカー ゲーム
	15	1月14日 サッカー ゲーム
	16	1月28日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		
成績評価の方法・基準等		
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ		





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002041	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バドミントン・バレーボール)		
編集担当教員	府内 勇希		
授業担当教員名(科目責任者)	府内 勇希		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	府内 勇希		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	D 1・D 2、F 1～F 3		
担当教員Eメールアドレス	y.funai@nishitan.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館 2 階（体育教員室）		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	（バレーボール）基本技術を習得し、正確なパスと力強いスパイクを打つことができる。 （バドミントン）基本技術を習得し、様々なフライトを組み合わせてシングルス、ダブルスのゲームができる。		
授業方法（学習指導法）	バレーボール、バドミントンを題材として、基礎的な技術とルールを段階的に習得しながら、ゲームの中で仲間と戦術を生かした様々なプレーができるようにする。また、障害のある人などに対してルールや用具を改変して行う「アダプテッド・スポーツ」についても理解を深める。		
授業内容	基本的には、授業前半に技術練習を行ったうえでゲームを中心に展開する。技能評価については、技術練習の中で実施した内容とする。また、16回目の定期試験については、本講義の総まとめとして実施する。		
	回	内容	
	1	1 0 月 1 日 オリエンテーション	
	2	1 0 月 8 日 バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム	
	3	1 0 月 1 5 日 バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム	
	4	1 0 月 2 2 日 バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム	
	5	1 0 月 2 9 日 バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム	
	6	1 1 月 5 日 アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール	
	7	1 1 月 1 2 日 アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール	

	8	11月19日 バレーボール：ゲームと技能評価
	9	11月26日 バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム
	10	12月 3日 バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム
	11	12月10日 バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム
	12	12月17日 バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム
	13	12月24日 アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン
	14	1月 7日 アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン
	15	1月14日 バドミントン：ゲームと技能評価
	16	1月21日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	テキストは使用しない。必要に応じて資料や視聴覚教材を使用する。	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度：40%、技能評価30%、定期試験30%	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002042	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ダンス)		
編集担当教員	ミティ		
授業担当教員名(科目責任者)	河合 史菜		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	河合 史菜		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M1～M3, T1・T2		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	本館108研究室		
担当教員TEL	095-819-2355		
担当教員オフィスアワー	随時（事前に予約すること）		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	ダンスの基礎的な身体の使い方を理解し、人と関わることや踊ることの楽しさを知ることができる。 様々な運動プログラムを通して健康・体力づくりの方法を理解し、継続して体を動かす習慣を身につけることができる。 最終的には授業内で習得した技法を生かして小作品創作に挑戦し、発表できるようにする。		
授業方法（学習指導法）	授業では、ストレッチ法を紹介しながら筋力・柔軟性アップを図ると共に、様々なダンスの基本テクニックを用いて他者と関わり踊る楽しさを体験する。また後半では振付を覚えて踊ったり、小作品創作を行うなど表現する楽しさを味わう。		
	前半は呼吸を大切にしながら心身を整え、後半では多様なダンスに触れながら友達と関わり合い音楽によって体を動かしていく。最終的には学んだ動きを組み合わせる、独自に動きを考えるなどして作品創作を行う。		
	回	内容	
	1	10月 1日 オリエンテーション	
	2	10月 8日 ストレッチ法とボディコントロール	
	3	10月15日 ストレッチ法とボディコントロール	
	4	10月22日 リズム系ダンスの基本テクニックやステップ	
	5	10月29日 リズム系ダンスの基本テクニックやステップ	
	6	11月 5日 リズム系ダンスの基本テクニックやステップ	

授業内容	7	11月12日 コミュニケーションダンス
	8	11月19日 コミュニケーションダンス
	9	11月26日 動きのレパトリーを増やそう～物を使ったダンス～
	10	12月 3日 動きのレパトリーを増やそう～物を使ったダンス～
	11	12月10日 動きのレパトリーを増やそう～音楽の感じとダンス～
	12	12月17日 動きのレパトリーを増やそう～言葉を組み合わせるダンス～
	13	12月24日 グループ作品創作
	14	1月 7日 グループ作品創作
	15	1月14日 グループ作品創作
	16	1月28日 グループ作品発表会
キーワード	ダンス・ストレッチ・健康・創作	
教科書・教材・参考書	必要に応じて資料を配布する。	
成績評価の方法・基準等	欠席が3回以上の者は失格とする。 授業に対する積極性50％ 創作作品への取り組み、完成度 25％ その他表現・創作能力、レポートなどで総合的に判断し評価する。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する 初心者・経験者大歓迎です。他者を観察し、良い動き・面白い動きを積極的に発見しましょう。 。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002043	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(球技スポーツ)		
編集担当教員	藤木 賢二		
授業担当教員名(科目責任者)	藤木 賢二		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤木 賢二		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M6,T7～T10		
担当教員Eメールアドレス	k-fujiki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館2 F（体育教官室）		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜日12:00～12:45、16:00～16:30		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお、3回欠席すると、原則的に失格になる。		
授業到達目標	ソフトボール、サッカー、テニスの運動効果およびルールを理解する。 ソフトボールにおいては、スローイング、キャッチング、バッティングができる。 テニスにおいては、グランドストローク、ボレー、サーブができる。 サッカーにおいては、ドリブル、パス、シュートができる。 以上より、安全にゲームを行い、スポーツに参加する意識を養う。		
授業方法（学習指導法）	球技スポーツでは、ソフトボール、サッカー、テニスの3種目を行う。		
授業内容	授業内容（概要） ソフトボール、サッカー、テニスをゲーム中心に行う。		
	回	内容	
	1	10月1日 オリエンテーション（種目の決定、授業の概要説明など）	
	2	10月8日 ソフトボール 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習	
	3	10月15日 ソフトボール ゲーム	
	4	10月22日 ソフトボール ゲーム	
	5	10月29日 ソフトボール ゲーム	
	6	11月5日 テニス 運動効果の理解、グループ分け、グランドストローク（フォアハンド、バックハンド）	
	7	11月12日 テニス グランドストローク、ボレー、サーブ	

	8	11月19日 テニス ゲーム（ダブルス）
	9	11月26日 テニス ゲーム（ダブルス、シングルス）
	10	12月3日 テニス ゲーム（シングルス）
	11	12月10日 サッカー 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習、簡易ゲーム
	12	12月17日 サッカー ゲーム
	13	12月24日 サッカー ゲーム
	14	1月7日 サッカー ゲーム
	15	1月14日 サッカー ゲーム
	16	1月28日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		
成績評価の方法・基準等		
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ		





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002044	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バドミントン・バレーボール)		
編集担当教員	府内 勇希		
授業担当教員名(科目責任者)	府内 勇希		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	府内 勇希		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 6、T 7～T 1 0		
担当教員Eメールアドレス	y.funai@nishitan.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館 2 階（体育教員室）		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	（バレーボール）基本技術を習得し、正確なパスと力強いスパイクを打つことができる。 （バドミントン）基本技術を習得し、様々なフライトを組み合わせてシングルス、ダブルスのゲームができる。		
授業方法（学習指導法）	バレーボール、バドミントンを題材として、基礎的な技術とルールを段階的に習得しながら、ゲームの中で仲間と戦術を生かした様々なプレーができるようにする。また、障害のある人などに対してルールや用具を改変して行う「アダプテッド・スポーツ」についても理解を深める。		
授業内容	基本的には、授業前半に技術練習を行ったうえでゲームを中心に展開する。技能評価については、技術練習の中で実施した内容とする。また、16回目の定期試験については、本講義の総まとめとして実施する。		
	回	内容	
	1	1 0 月 1 日 オリエンテーション	
	2	1 0 月 8 日 バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム	
	3	1 0 月 1 5 日 バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム	
	4	1 0 月 2 2 日 バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム	
	5	1 0 月 2 9 日 バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム	
	6	1 1 月 5 日 アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール	
	7	1 1 月 1 2 日 アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール	

	8	11月19日 バレーボール：ゲームと技能評価
	9	11月26日 バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム
	10	12月 3日 バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム
	11	12月10日 バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム
	12	12月17日 バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム
	13	12月24日 アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン
	14	1月 7日 アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン
	15	1月14日 バドミントン：ゲームと技能評価
	16	1月21日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		
成績評価の方法・基準等		
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ		





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002045	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ダンス入門)		
編集担当教員	田中 志保		
授業担当教員名(科目責任者)	田中 志保		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田中 志保		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M6,T7~T10		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	共用校舎 2（2階体育教員室）		
担当教員TEL	095-847-7568		
担当教員オフィスアワー	毎週水曜日12:30~12:50		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	音楽に合わせて体を動かす楽しさや心地よさ、体力の向上を実感できるようにする。		
授業方法（学習指導法）	毎時間実技を行う。基本的には教員が全体へ指導するが、技術習得のためグループやペアで協力して取り組む場面もある。		
授業内容	本授業では、ダンス（主にストリートダンス）の基本的な動きやステップを段階的に学習し、その習得を図る。毎時間ウォームアップとして、全身のストレッチ と筋力アップの運動を行い、その後、様々なステップや動きを練習する。2～6回目の授業では、授業後半に短い振付を覚えて踊る。7回目の授業では、それまでに学習した振付の技能テストを行う。8回目の授業からはグループに分かれ、協力しながら自由に小作品を創作する。16回目に行う定期試験では、その小作品を発表する。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション（授業の進め方、注意事項等の説明）	
	2	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック①、振付①	
	3	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック②、振付②	
	4	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック③、振付③	
	5	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック④、振付④	
	6	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑤、振付⑤	
	7	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、技能テスト	
		ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑥、グループ創作①（グルー	

	8	プ分け、創作のすすめ方等の説明)
	9	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑦、グループ創作②
	10	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑧、グループ創作③
	11	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑨、グループ創作④
	12	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑩、グループ創作⑤
	13	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑪、グループ創作⑥
	14	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑫、グループ創作⑦
	15	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑬、グループ創作⑧
	16	定期試験（創作作品発表）
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は用いない。	
成績評価の方法・基準等	授業中の積極的な態度（４０％）、技能テスト（３０％）、定期試験（３０％）を総合的に考慮して評価する。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメイトと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002046	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(球技スポーツ)		
編集担当教員	藤木 賢二		
授業担当教員名(科目責任者)	藤木 賢二		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤木 賢二		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M1～M3,T1・T2		
担当教員Eメールアドレス	k-fujiki@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館2 F（体育教官室）		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	水曜日12:00～12:45、16:00～16:30		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお、3回欠席すると、原則的に失格になる。		
授業到達目標	ソフトボール、サッカー、テニスの運動効果およびルールを理解する。 ソフトボールにおいては、スローイング、キャッチング、バッティングができる。 テニスにおいては、グランドストローク、ボレー、サーブができる。 サッカーにおいては、ドリブル、パス、シュートができる。 以上より、安全にゲームを行い、スポーツに参加する意識を養う。		
授業方法（学習指導法）	球技スポーツでは、ソフトボール、サッカー、テニスの3種目を行う。		
授業内容	授業内容（概要） ソフトボール、サッカー、テニスをゲーム中心に行う。		
	回	内容	
	1	10月1日 オリエンテーション（種目の決定、授業の概要説明など）	
	2	10月8日 ソフトボール 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習	
	3	10月15日 ソフトボール ゲーム	
	4	10月22日 ソフトボール ゲーム	
	5	10月29日 ソフトボール ゲーム	
	6	11月5日 テニス 運動効果の理解、グループ分け、グランドストローク（フォアハンド、バックハンド）	
	7	11月12日 テニス グランドストローク、ボレー、サーブ	

	8	11月19日 テニス ゲーム（ダブルス）
	9	11月26日 テニス ゲーム（ダブルス、シングルス）
	10	12月3日 テニス ゲーム（シングルス）
	11	12月10日 サッカー 運動効果の理解、チーム分け、基礎練習、簡易ゲーム
	12	12月17日 サッカー ゲーム
	13	12月24日 サッカー ゲーム
	14	1月7日 サッカー ゲーム
	15	1月14日 サッカー ゲーム
	16	1月28日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		
成績評価の方法・基準等		
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ		





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002047	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バドミントン・バレーボール)		
編集担当教員	府内 勇希		
授業担当教員名(科目責任者)	府内 勇希		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	府内 勇希		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 1～M 3、T 1・T 2		
担当教員Eメールアドレス	y.funai@nishitan.ac.jp		
担当教員研究室	総合体育館 2 階（体育教員室）		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	（バレーボール）基本技術を習得し、正確なパスと力強いスパイクを打つことができる。 （バドミントン）基本技術を習得し、様々なフライトを組み合わせてシングルス、ダブルスのゲームができる。		
授業方法（学習指導法）	バレーボール、バドミントンを題材として、基礎的な技術とルールを段階的に習得しながら、ゲームの中で仲間と戦術を生かした様々なプレーができるようにする。また、障害のある人などに対してルールや用具を改変して行う「アダプテッド・スポーツ」についても理解を深める。		
授業内容	基本的には、授業前半に技術練習を行ったうえでゲームを中心に展開する。技能評価については、技術練習の中で実施した内容とする。また、16回目の定期試験については、本講義の総まとめとして実施する。		
	回	内容	
	1	1 0 月 1 日 オリエンテーション	
	2	1 0 月 8 日 バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム	
	3	1 0 月 1 5 日 バレーボール：基礎的技術(パス)とゲーム	
	4	1 0 月 2 2 日 バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム	
	5	1 0 月 2 9 日 バレーボール：基礎的技術(スパイク)とゲーム	
	6	1 1 月 5 日 アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール	
	7	1 1 月 1 2 日 アダプテッド・スポーツとしてのバレーボール	

	8	11月19日 バレーボール：ゲームと技能評価
	9	11月26日 バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム
	10	12月 3日 バドミントン：基礎的技術(サービスと様々なフライト)とゲーム
	11	12月10日 バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム
	12	12月17日 バドミントン：基礎的技術(スマッシュ)とゲーム
	13	12月24日 アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン
	14	1月 7日 アダプテッド・スポーツとしてのバドミントン
	15	1月14日 バドミントン：ゲームと技能評価
	16	1月21日 定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	テキストは使用しない。必要に応じて資料や視聴覚教材を使用する。	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度：40%、技能評価30%、定期試験30%	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水 2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002048	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(バスケットボール・卓球)		
編集担当教員	小原 達朗		
授業担当教員名(科目責任者)	小原 達朗		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	小原 達朗		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	D 1・D 2、F 1～F 3		
担当教員Eメールアドレス	labo@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部252室		
担当教員TEL	095-819-2294		
担当教員オフィスアワー	水曜日17:00～17:45		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をとおして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯のわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格となる。		
授業到達目標	演習で取り上げた課題を理解し、実践できること、バスケットと卓球のスポーツ実践が受講者間で支障なくできること。		
授業方法（学習指導法）	本授業では、スポーツの実践とスポーツを行う身体についてレクチャー及び演習をとおしてりかいすることを目指している。従って、授業の前段の演習と後段のスポーツ実践によって進める。		
授業内容	バスケットと卓球のルールや基本技術・戦術を理解し、技能の向上が図れるように毎時間評価を加えながら実践的に実施する。基本的にはチームやパートに分かれてゲームを中心に実施する。		
	回	内容	
	1	1 0月1日 オリエンテーション、班分け、ねらい、授業方法、チーム編成	
	2	1 0月8日 ストレッチ法、バスケット（プレマッチ）、チーム再編成	
	3	1 0月15日 ボディエクササイズ法、バスケット（リーグ戦1回目）	
	4	1 0月22日 ウェイトコントロールの理論、バスケット（リーグ戦2回目）	
	5	1 0月29日 ダイエットと運動の理論、バスケット（リーグ戦3回目）	
	6	1 1月 5日 エアロビクスの理論と実践、バスケット（リーグ戦4回目）	
	7	1 1月12日 バスケット（リーグ戦5回目）	
	8	1 1月19日 バスケット（リーグ戦6回目）	

	9	1 1月26日 ウェイトトレーニングの理論と実践、卓球（プレマッチ）
	10	1 2月 3日 リラクゼーション法の理論と実践、卓球（リーグ戦1回目）
	11	1 2月10日 ウォーキングの方法と実践、卓球（リーグ戦2回目）
	12	1 2月17日 ジョギングの方法と実践、卓球（リーグ戦3回目）
	13	1 2月24日 ストレスと運動についての理解、卓球（リーグ戦4回目）
	14	1月 7日 健康と体力についての理解、卓球（リーグ戦5回目）
	15	1月14日 卓球（ダブルス）
	16	
キーワード	体力増進、健康維持、スポーツ、実践方法	
教科書・教材・参考書	教科書は不要。必要に応じて資料を配布する。	
成績評価の方法・基準等	1.授業に対する積極的な参加度（配点60％） 2.演習の内容が実践的に到達目標に達していること（配点20％） 3.平常の活動の評価（配点20％） 4.欠席が3回以上の者は失格とする	
受講要件（履修条件）	特になし	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業に出る場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002049	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ニュースポーツ)		
編集担当教員	渡邊 勝平		
授業担当教員名(科目責任者)	渡邊 勝平		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	渡邊 勝平		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 5、T 3～T 6		
担当教員Eメールアドレス	chosho-wata@hotmail.co.jp		
担当教員研究室	共用校舎 2 （2階体育教員室）		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	木曜日12:00～12:50		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる		
授業到達目標	スポーツそのものを周囲と協力しながら楽しむことができる。また既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法を習得し、生涯にわたって気軽に運動・スポーツに取り組むことができるようになる。		
授業方法（学習指導法）	様々なニュースポーツの実践により、既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法や運動実践を行なう。ゲームを中心に実施する。		
授業内容	回	内容	
	1	1 0月2日 オリエンテーション	
	2	1 0月9日 アルティメット	
	3	1 0月16日 アルティメット	
	4	1 0月23日 アルティメット	
	5	1 0月30日 アルティメット	
	6	1 1月6日 グラウンドゴルフ	
	7	1 1月13日 フットサル・キックベースボール	
	8	1 1月20日 ラージボール卓球	
	9	1 1月27日 インディアカ	
	10	1 2月4日 インディアカ	

	11	1 2月1 1日 インディアカ
	12	1 2月1 8日 ソフトバレー
	13	1 2月2 5日 ソフトバレー
	14	1月9日 ミニテニス
	15	1月8日 ニュースポーツの考案
	16	1月1 5日 定期試験
キーワード	ニュースポーツ・生涯スポーツ	
教科書・教材・参考書	テキスト、教材は使用しない。必要に応じて関係するビデオや資料を使用する。	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度（70％） 筆記試験（30％） 全期間の欠席が3回以上の場合は原則的に失格となる。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。 これまであまり経験のないと思われる様々なニュースポーツを体験し、生涯スポーツへ繋がればと思います。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002050	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ダンス入門)		
編集担当教員	田中 志保		
授業担当教員名(科目責任者)	田中 志保		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田中 志保		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M5,T3~T6		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	共用校舎 2 （2階体育教員室）		
担当教員TEL	095-847-7568		
担当教員オフィスアワー	毎週木曜日12:30~12:50		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	音楽に合わせて体を動かす楽しさや心地よさ、体力の向上を実感できるようにする。		
授業方法（学習指導法）	毎時間実技を行う。基本的には教員が全体へ指導するが、技術習得のためグループやペアで協力して取り組む場面もある。		
授業内容	本授業では、ダンス（主にストリートダンス）の基本的な動きやステップを段階的に学習し、その習得を図る。毎時間ウォームアップとして、全身のストレッチ と筋力アップの運動を行い、その後、様々なステップや動きを練習する。2～6回目の授業では、授業後半に短い振付を覚えて踊る。7回目の授業では、それま でに学習した振付の技能テストを行う。8回目の授業からはグループに分かれ、協力しながら自由に小作品を創作する。16回目に行う定期試験では、その小作 品を発表する。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション（授業の進め方、注意事項等の説明）	
	2	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック①、振付①	
	3	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック②、振付②	
	4	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック③、振付③	
	5	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック④、振付④	
	6	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑤、振付⑤	
	7	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、技能テスト	
		ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑥、グループ創作①（グルー	

	8	プ分け、創作のすすめ方等の説明)
	9	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑦、グループ創作②
	10	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑧、グループ創作③
	11	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑨、グループ創作④
	12	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑩、グループ創作⑤
	13	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑪、グループ創作⑥
	14	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑫、グループ創作⑦
	15	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑬、グループ創作⑧
	16	定期試験（創作作品発表）
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は用いない。	
成績評価の方法・基準等	授業中の積極的な態度（４０％）、技能テスト（３０％）、定期試験（３０％）を総合的に考慮して評価する。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメイトと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木 3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002051	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(テニス・卓球)		
編集担当教員	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(科目責任者)	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	飛奈 美耶子		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 5、T 3～T 6		
担当教員Eメールアドレス	tobimiyako@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	総合体育館2F体育教官室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	テニス・卓球の基本動作やルール・マナーを習得し、個々の技能を活かしてゲームの中でさまざまな状況に対応できることを目標とする。		
授業方法（学習指導法）	テニスと卓球の基礎技術を習得し、ゲームを通じて技術の発展・戦略を考えたゲームの展開ができるようにする。また、個人の課題を明確にし、自らで克服していく能力を身に付ける。		
授業内容	回	内容	
	1	1 0 月 2 日 オリエンテーション	
	2	1 0 月 9 日 テニスの各ショットの習得	
	3	1 0 月 1 6 日 テニスの各ショットの習得	
	4	1 0 月 2 3 日 テニスのダブルスゲーム	
	5	1 0 月 3 0 日 テニスのシングルスゲーム	
	6	1 1 月 6 日 テニスチーム対抗戦①	
	7	1 1 月 1 3 日 テニスチーム対抗戦②	
	8	1 1 月 2 0 日 テニスチーム対抗戦③	
	9	1 1 月 2 7 日 卓球の基本動作の習得	
	10	1 2 月 4 日 卓球の基本動作の習得	
	11	1 2 月 1 1 日 卓球のシングルスゲーム	

	12	1 2 月 1 8 日 卓球のダブルスゲーム
	13	1 2 月 2 5 日 卓球チーム対抗戦①
	14	1 月 8 日 卓球チーム対抗戦②
	15	1 月 1 5 日 卓球チーム対抗戦③
	16	1 月 2 9 日 筆記試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加 5 0 % 授業への取り組み方 2 0 % 筆記試験及び技術の上達度 3 0 % ただし、欠席が 3 回以上の者は失格とする。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002052	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ニュースポーツ)		
編集担当教員	渡邊 勝平		
授業担当教員名(科目責任者)	渡邊 勝平		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	渡邊 勝平		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 4、K 1～K 3		
担当教員Eメールアドレス	chosho-wata@hotmail.co.jp		
担当教員研究室	総合体育館体育教官室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	木曜日12:00～12:50		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる		
授業到達目標	スポーツそのものを周囲と協力しながら楽しむことができる。また既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法を習得し、生涯にわたって気軽に運動・スポーツに取り組むことができるようになる。		
授業方法（学習指導法）	様々なニュースポーツの実践により、既存のスポーツ概念にとらわれない運動方法や運動実践を行なう。ゲームを中心に実施する。		
授業内容	回	内容	
	1	1 0月2日 オリエンテーション	
	2	1 0月9日 アルティメット	
	3	1 0月16日 アルティメット	
	4	1 0月23日 アルティメット	
	5	1 0月30日 アルティメット	
	6	1 1月6日 グラウンドゴルフ	
	7	1 1月13日 フットサル・キックベースボール	
	8	1 1月20日 ラージボール卓球	
	9	1 1月27日 インディアカ	
	10	1 2月4日 インディアカ	

	11	1 2月1 1日 インディアカ
	12	1 2月1 8日 ソフトバレー
	13	1 2月2 5日 ソフトバレー
	14	1月8日 ミニテニス・
	15	1月1 5日 ニュースポーツの考案
	16	1月2 2日 定期試験
キーワード	ニュースポーツ・生涯スポーツ	
教科書・教材・参考書	テキスト、教材は使用しない。必要に応じて関係するビデオや資料を使用する。	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加態度（70％） 筆記試験（30％） 全期間の欠席が3回以上の場合は原則的に失格となる。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。 これまであまり経験のないと思われる様々なニュースポーツの体験により、生涯スポーツへ繋がればと思います。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002053	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(ダンス入門)		
編集担当教員	田中 志保		
授業担当教員名(科目責任者)	田中 志保		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	田中 志保		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M4,K1~K3		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	共用校舎 2（2階体育教員室）		
担当教員TEL	095-847-7568		
担当教員オフィスアワー	毎週木曜日12:30~12:50		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	音楽に合わせて体を動かす楽しさや心地よさ、体力の向上を実感できるようにする。		
授業方法（学習指導法）	毎時間実技を行う。基本的には教員が全体へ指導するが、技術習得のためグループやペアで協力して取り組む場面もある。		
授業内容	本授業では、ダンス（主にストリートダンス）の基本的な動きやステップを段階的に学習し、その習得を図る。毎時間ウォームアップとして、全身のストレッチ と筋力アップの運動を行い、その後、様々なステップや動きを練習する。2～6回目の授業では、授業後半に短い振付を覚えて踊る。7回目の授業では、それま でに学習した振付の技能テストを行う。8回目の授業からはグループに分かれ、協力しながら自由に小作品を創作する。16回目に行う定期試験では、その小作 品を発表する。		
	回	内容	
	1	オリエンテーション（授業の進め方、注意事項等の説明）	
	2	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック①、振付①	
	3	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック②、振付②	
	4	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック③、振付③	
	5	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック④、振付④	
	6	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑤、振付⑤	
	7	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、技能テスト	
		ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑥、グループ創作①（グルー	

	8	プ分け、創作のすすめ方等の説明)
	9	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑦、グループ創作②
	10	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑧、グループ創作③
	11	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑨、グループ創作④
	12	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑩、グループ創作⑤
	13	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑪、グループ創作⑥
	14	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑫、グループ創作⑦
	15	ウォームアップ（ストレッチ・筋トレ）、基本テクニック⑬、グループ創作⑧
	16	定期試験（創作作品発表）
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は用いない。	
成績評価の方法・基準等	授業中の積極的な態度（４０％）、技能テスト（３０％）、定期試験（３０％）を総合的に考慮して評価する。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメイトと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	





タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 健康・スポーツ科学科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木 4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20140562002054	科目番号	05620020
授業科目名	●スポーツ演習(テニス・卓球)		
編集担当教員	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(科目責任者)	飛奈 美耶子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	飛奈 美耶子		
科目分類	健・スポ科学科目		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室			
対象学生（クラス等）	M 4、K 1～K 3		
担当教員Eメールアドレス	tobimiyako@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	総合体育館2F体育教官室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間		
授業の概要及び位置づけ	様々な運動をととして身体運動の効果や実践方法またはスポーツの文化、ルール、技術を習得し、生涯にわたって身体運動やスポーツに親しむことのできる基礎 知識を身につけ、実践しようとする意識を育む科目である。そのため授業計画にとりあげたようなスポーツを実施するが、内容についてはシラバスを参照すること。なお3回欠席すると原則的に失格になる。		
授業到達目標	テニス・卓球の基本動作やルール・マナーを習得し、個々の技能を活かしてゲームの中でさまざまな状況に対応できることを目標とする。		
授業方法（学習指導法）	テニスと卓球の基礎技術を習得し、ゲームを通じて技術の発展・戦略を考えたゲームの展開ができるようにする。また、個人の課題を明確にし、自らで克服していく能力を身に付ける。		
授業内容	回	内容	
	1	10月 2日 オリエンテーション	
	2	10月 9日 テニスの各ショットの習得	
	3	10月16日 テニスの各ショットの習得	
	4	10月23日 テニスのダブルスゲーム	
	5	10月30日 テニスのシングルスゲーム	
	6	11月6日 テニスチーム対抗戦①	
	7	11月13日 テニスチーム対抗戦②	
	8	11月20日 テニスチーム対抗戦③	
	9	11月27日 卓球の基本動作の習得	
	10	12月 4日 卓球の基本動作の習得	
	11	12月11日 卓球のシングルスゲーム	

	12	1 2 月 1 8 日 卓球のダブルスゲーム
	13	1 2 月 2 5 日 卓球チーム対抗戦①
	14	1 月 8 日 卓球チーム対抗戦②
	15	1 月 1 5 日 卓球チーム対抗戦③
	16	1 月 2 9 日 筆記試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	教科書は使用しない。必要に応じて資料を配布する。	
成績評価の方法・基準等	授業に対する積極的な参加 5 0 % 授業への取り組み方 2 0 % 筆記試験及び技術の上達度 3 0 % ただし、欠席が 3 回以上の者は失格とする。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業にでる場合には少しでも上達しよう、チームメートと心理的な面も含めて協力しよう、楽しくやろうという態度で臨んでほしい。身体運動及びスポーツが身体に及ぼす影響などについてもそのつど講義する。	

